

第七十五回
帝國議會
貴族院

牧野法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案
牧野法中改正法律案

委員氏名

委員長 侯爵小村 捷治君
副委員長 伯爵後藤 一藏君

柴田善三郎君
男爵坊城 俊賢君
男爵杉溪 由言君
有賀 光豐君
菅澤 重雄君
大西虎之介君
柴田兵一郎君

昭和十五年二月二十八日(水曜日)午前十一時十二分開會

○委員長(侯爵小村捷治君) 是ヨリ委員會ヲ開キマス

○國務大臣(島田俊雄君) 本委員會ニ御付託ニナリマシタ、牧野法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ御説明致シマス、日支事變ニ依リマシテ、未曾有ノ多數ノ馬ノ徵發ヲ見タル我が國ノ現狀ニ於キマシテハ、軍事上、並ニ産業上ノ見地ヨリ致シマシテ、馬ノ増産、及資質ノ向上ト云フコトガ目下ノ急務デアリマスガ、之ヲ達成致シマス爲ニハ牧野ノ整備擴大ヲ圖ルコトガ必要デアリマス、殊ニ今次事變ノ經驗ニ依リマシテ、國內保有馬ノ資質ノ向上ノ必要ガ痛感セラレマシテ、先年樹立致シマシタ「内地馬政計畫」ニ於キマシテモ、低身、廣軀ニシテ四肢強健ナル馬ノ生産ヲ目途ト致シテ居ルノデアリマス

スガ、之ガ爲ニハ放牧ヲ必要ト致シマスルコトハ疑ノナイ所デアリマス、斯クノ如ク牧野ノ必要ハ極メテ緊切ナルモノガアリマスガ、我が國ノ牧野ノ現狀ヲ見マス時、其ノ面積ハ狹少デアリ、其ノ改良ハ未ダ不十分デアリ、其ノ維持方法、利用狀態ニ付キマシテモ、幾多遺憾ノ點ガ存スル狀態ニアリノデアリマス、仍テ現下牧野ニ要求セラレマス所ノ重大ナル使命ヲ達成スル爲ニ、牧野法改正ノ必要ヲ痛感致シマシテ、過般馬政調査會ニ對シ、之ニ關スル諮問ヲ致シ、其ノ答申ニ基キマシテ、本法律案ヲ立案致シタ次第デアリマス、而シテ此ノ牧野法中改正法律案ノ内容ノ要點ハ大體五ツデアリマス、即チ第一ハ牧野特定地ノ制度、第二ハ民有未利用地ノ牧野化、第三ハ牧野組合ノ機能ノ強化、第四ハ牧野經營ノ積極的指導、第五ハ國營牧野ノ設置是レデアリマス、第一ノ牧野特定地ノ制度デアリマスガ、我が國ニ於ケル牧野ハ其ノ改良ガ尙不十分デアリ、又他ノ用途ニ轉換スルコトモ尠クナイ現狀デアリマスノデ、牧野ノ改良ヲ一段ト促進シ、牧野ニ對スル指導監督ノ周到ヲ期シマスルト共、併セテ牧野ノ減少ヲ防止スルノ必要ヲ痛感スルノデアリマス、然ルニ現行法ニ於キマシテハ此ノ點ノ規定ニ付缺クル所ガ尠クアリマセヌノデ、茲ニ牧野特定地ノ制度ヲ設ケ、之ガ要望ヲ滿タサムトスル次第デアリマス、即チ特ニ牧野トシテ、保護スル必要アルモノヲ牧野特定地ニ指定シ、牧野特定地ニ付キマシテハ其ノ改

良維持ノ促進ニ關シ、諸般ノ命令ヲ發シ、又必要ニ應ジテ牧野組合ノ設立ヲ命ジ、更ニ又牧野特定地ニ於テハ、行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ、其ノ牧野ノ保護ヲ妨グル虞アル行爲ヲ爲スコトヲ得ザラシメムトスルノデアリマス、第二ハ民有未利用地ノ牧野化デアリマス、從來北海道等ニ於キマシテハ、御料地、又ハ國有地ノ拂下ヲ受ケ、之ヲ殆ト利用スルコトナク放置シテアルモノガ相當面積ニ上ルノデアリマス、此ノ中牧野ニ適スル土地ヲ牧野トシテ利用セシムルコトハ極メテ適切ナルコトト存ジマスノデ、道府縣市町村牧野組合、畜産組合、又ハ畜産組合聯合會ガ特ニ馬ノ牧野ヲ設ケムトスル場合ニ於キマシテハ必要ニ應ジテ之ヲ使用收用シ得ルノ途ヲ拓イタ次第デアリマス、第三ニ牧野組合ノ機能ノ強化デアリマス、牧野組合ハ牧野改良發達ノ基礎トシテ極メテ重要ナルモノデアリマスガ、之ガ活動ノ促進ハ最モ必要ト認メラレマスノデ、其ノ機能ヲ擴大シ、牧野ノ經營ニ當ルコトヲ得ルコトトシ、其ノ他總代會ノ制度ヲ設ケテ事務ノ簡捷ヲ圖ル等、牧野組合ノ使命達成ニ遺憾ナカラシメムコトヲ期シタ次第デアリマス、第四ニ牧野經營ノ積極的指導ニ付キマシテハ、先ヅ第一ニ現在牧野ガ荒廢シ、其ノ利用ノ粗放ナル原因ハ、牧野ニ適當ナル技術者ノ存セザルコトニ依ルモノガ尠クナイト認メラレマスノデ、政府ハ必要ニ應ジマシテ牧野組合等ニ對シ、牧野技術者ノ雇入ヲ命ジ、之ニ對シテハ國費ヲ以テ補助ヲ與ヘムトスル

ノデアリマス、尙牧野ヲ十分ニ利用シ、内地馬政計畫ノ遂行ヲ圖ラムガ爲、必要ニ應ジテハ馬ヲ一定ノ牧野ニ放牧スベキ命令ヲ發シ得ル途ヲモ拓イタノデアリマス、最後ニ以上ノ如ク民營牧野ノ擴大整備ニ關スル諸方策ヲ講ズル外ニ、民間經營ニ依ッテハ十分ニ其ノ成績ヲ舉グルコト困難ト認メラルモノニ付キマシテハ必要ニ應ジ政府自ラ牧野ヲ經營シテ有能ナル馬ノ造成ヲ圖リ、馬政ノ遂行ニ遺憾ナキヲ期セムトシタ次第デアリマス、尙本法ノ運用ニ付キマシテハ、牧野委員會ヲ設ケマシテ民間ノ有識者ヲモ其ノ委員ニ加ヘ牧野特定地ノ指定、又ハ其ノ取消並ニ民有未利用地ヲ牧野化スル場合ニ於ケル行政官廳ノ認可ニ付、其ノ意見ヲ徵スルコトト致シマシテ、其ノ運用ニ萬全ヲ期シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御可決アラムコトヲ希望致シマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 皆様ニ申上ゲマス、農林大臣ハ十一時頃迄此ノ委員會ニオイデ下サルサウデゴザイマス、ソレレ御質問ゴザイマシタラ……

○柴田兵一郎君 政府ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、有能強健馬ノ増産ヲ圖ルニハ、牧野ノ整備擴大ヲ必要トスルコトハ、只今農林大臣ノ御説明ノ通りデアリマス、之ガ實現ハ地方馬産家ノ多年要望シテ參ッテ來タ所デアリマスルガ、政府ニ於テモ之ヲ認メラレテ、去ル昭和六年牧野法ヲ制定實施セラレテ牧野ノ保護改善ニ努力セラレテ居ラル、ノデアリマスルガ、然ルニ今日ノ牧

野ノ狀況ハ只今御指摘ガアリマシタ通り、局部的ニハ改良セラレタ所モアリマスルケレドモ、其ノ聲ノ大ナル割合ニハ概シテ實績ノ著シテ居ラナイノハ甚ダ遺憾トスル者デアリマス、惟フニ之ガ原因ハ矢張り現地指導監督ノ不十分ナルコトト牧野組合ノ内容ノ貧弱ナルコトニ因ルと思フデアリマサルガ、私ノ考デハ先ヅ地方官廳、乃至畜産組合内ニ專任指導員ヲ増設スルコトハ最も急務ナリト考ヘル者デアリマス、次ニ牧野組合ノ内容ノ強化充實ヲ圖ルコトデアリマサルガ、今日ノ組合ノ多クハ形ダケアリマシテ餘リ活動致シテ居リマセヌ、斯ウ云フノモ組合ノ資金ノ貧弱ナルニ加ヘテ最近設備資材ノ價格ノ騰貴ト勞銀ノ昂騰等ノ影響ヲ受ケマシテ、勢ヒ事業不振ニ終ッテ居ルモノト思ハレルデアリマス、從來政府ノ馬政ニ關スル御施設ノ中デ、此ノ牧野ニ關シテハ聊カ繼子扱ヒノ感ナキニシモアラズト思フデアリマス、ドウカ此ノ點ニ付キマシテ十分御調査ノ上、地方團體ニ一層ノ御督勵ト積極的ノ御援助ヲ下サルヤウニ希望シテ已マナイ次第デアリマス、政府ハ今次事變ノ實績ニ鑑ミテ、國防上必要ナル有能馬ノ充實ヲ圖ラムガ爲ニ、昨年軍馬資源保護法、種馬統制法、其ノ他馬政ニ關スル諸般ノ施設計畫ヲ實施セラレマシタコトハ、我々ノ大イニ敬意ヲ表スル所デアリマスルガ、而シテ是等ノ諸施設ト相俟ッテ、是ト並行シテ牧野ヲ改善スルコトハ有能馬ノ資源涵養上最も大切ナリト思惟スル者デアリマス、就キマシテハ、今後政府當局ニ於カレマシテハ、此ノ方面ニ一段ノ御考慮ヲ拂ハレマシテ速カニ牧野根本策ヲ確立セシムベク御努力アラムコトヲ希望スル次第デアリ

マス、今本法案ヲ一見致シマスト、牧野特定位ノ指定存置、國家經營、其ノ他ノ改良ヲ行ハルヤウデアリマスガ、何レモ妥當適正ナル御考案デアルト拜見致シマシタ、御趣旨ニハ大イニ賛意ヲ表スルモノデアリマス、唯要ハ實行ニアルト思フデアリマス、政府ハ是ガ實效ヲ舉グル爲、如何ナル實施方法ニ付幾許ノ豫算ヲ計上セラレテ居リマスカ、具體的ニ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(島田俊雄君) 只今ノ前段ニ御述ニナリマシタ牧野ニ對スル政策ヲ確定シ、之ヲ積極的ニヤルト云フ御意見ハ、政府トシマシテモ全然同感デアリマス、何分廣ク面積ヲ要スルモノデアリマスカラシテ、從ッテ費用モ多ク要スルヤウナ關係上、今日迄段々ニ延ビテ、サウシテ完璧ヲ期スルト云フ域ニ至ラナカッタデアリマスガ、今同ノ此ノ事變ニ際會致シマシテ、段々斯ウ云フ點ニ關スルコトヲ、急速ニ進メテ行クノ必要ガアリ、又之ニ對シテ的確ナル施設ヲスルノ必要ガアル、斯ウ云フ點カラシテ、此ノ方面ニ手ヲ著ケテ、先ヅ此ノ程度ノ改正案ヲ出シテ、斯ウ云フコトニナツタ次第デゴザイマス、之ニ關スル經費等ニ付キマシテハ、政府委員ヨリ數字ニ付テ御説明申上ゲタイト思ヒマス

○政府委員(村上富太郎君) 牧野ノ改良ニ關スル豫算ハ最近數年以來相當増額致シテ參リマシタデスガ、又明年度ニ於キマシテ、牧野法ノ改正ニ伴ヒマシテ相當之ヲ増額致スコトニ致シマス、即チ此ノ度牧野法ノ改正ニ依リマシテ國營ノ牧野ヲ設ケマスガ爲ニ、毎年三箇所ツツ十箇年計畫國營牧野ヲ設クルコトヲ致シマシタ、初年度ニ

於キマシテ約十三萬圓餘ノ經費ヲ、之ヲ營繕費ト合セテ要求スルコトニ致シテアリマス、ソレカラ從來トモ牧野ノ改良ニ對シテ種種助成ヲ致シテ居リマシタガ、更ニ一步ヲ進メマシテ此ノ法律ニモゴザイマスヤウニ、牧野ノ技術者ニ對シマシテ金額補助ヲ致シマシテ居リマス、又牧野法ヲ運用ト致シマシテ、牧野委員會ヲ設ケマス委員會ノ費用、ソレカラ只今御述ニナリマシタヤウニ、地方ニ於ケル所ノ牧野法施行ノ職員ヲ常置セシムルコトヲ致シマシテ、是等ニ對シマシテ約十八萬圓餘ノ増額ヲ致シテ居リマス、總計合セマスト約三十二萬圓餘ヲ増額致シタ譯デアリマス、尙將來ニ於キマシテハ、一層是等ノ點ニ付キマシテ充實ヲ期シタイト思ヒマス

○柴田兵一君 只今政府委員ヨリ承リマシタ豫算ダケデハ遺憾ナガラ私ハ所期ノ目的ヲ達スルノ困難ナルヲ憂ヘルモノデアリマス、本案提出ノ理由ノ通り、民間ノ經營ニ依ッテハ十分ニ其ノ成績ヲ擧ゲ得ナイト認メラル、モノニ付テハ、必要ニ應ジテ政府自ラ牧野ヲ經營シテ、優良馬ヲ造成スルト云フコトハ誠ニ結構ナ御考デアリマスルガ、併シナガラ一體只今承リマシタ豫算ノ程度デ、果シテ國家經營トシテノ效果ヲ擧ゲ得ルヤ否ヤ、聊カ疑問トスル所デアリマス、私ハ必ズシモ民營一元化ヲ固持スルモノデアリマセヌ、二本建テモ亦結構デアリマス、併シ牧野ノ利用獎勵、竝ニ從來ノ面積、將又國家經濟上ヨリ觀マシテ從來ノ民營ニ重點ヲ置イテ、極力之ヲ督勵、助成シテ十分ニ其ノ成果ヲ擧ゲシメテ、然ル後ニ國營ニ移スノガ順序デハナカラウカト思フデアリマス、私ノ見ル所デハ、先程モ申上ゲマ

シタ通り、從來ノ政府ノ牧野獎勵、竝ニ民間經營團體ニ對スル助成振リデハ極メテ微温的デアリマス、此ノ程度デハ到底所期ノ目的ヲ期セラレナイト思フデアリマス、先年第二次馬政計畫樹立ノ際、政府當局ニ於カレテハ、馬產經濟ヲ周到ニ御調査ナサシマシテ、牧野ノ經營費一「ヘクタール」當幾テ掛カルカト云フコトハ十分御承知ノ筈デアリマス、殊ニ昨今ノ如ク昂騰セル物價、竝ニ勞銀ニ於テハ從來ノ助成金デハ容易ニ牧野ノ改善ハ望マレナイト思フデアリマス、故ニ私ハ此ノ際政府當局ニ要望スルデアリマスルガ、國防上、竝ニ産業上重要ナル國策デアリマスル馬政計畫ノ完遂ヲ期スルニハ、牧野ノ根本策ヲ確立シナケレバナラスト思フデアリマス、ソレガ爲ニハ牧野獎勵費、竝ニ助成金ハモットノ増額シナケレバナラス、尠クモ馬政ニ關スル豫算ノ三割以上ヲ必要ト認メラルルデアリマス、就キマシテハ私ハ此ノ際御願ヒ致シタイノデアリマスルガ、昭和十五年度ニ於テ此ノ牧野ニ關スル豫算ノ追加ヲ計上シテ戴キタイト念ズル者デアリマス、若シ追加豫算ガ御出來ニナラナカッタラバ、翌年度ニ於テ必ズ増額シテ下サルヤウニ切望シテ已マナイ次第デアリマス、此ノ點ニ付テ政府ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(島田俊雄君) 全ク御尤モデアリマス、法案ノ説明ノ理由トシテ述ベタ所ト、サウシテ實際ノ金額ノ豫算ノ數字トヲ較ベテ只今ノ御意見ヲ拜聴致シマスト、誠ニ御尤モト申上ゲルノ外ハナイノデアリマスガ、是ハ政府トシテハ豫算ノ金額ガ少イ場合ニ言フコトデアリマスケレドモ、何分馬ニ關スル行政關係ノ費用ト云フモノハ、

相當一匹々ノ馬ニ付テ考ヘテ見マス、ト、他ノ家畜ナドニ較ベマス、非常ニ費用ノ多ク掛カルモノデアリマス、從テ馬政局ノ經費、馬政ノ關係ノコトト云フモノガ非常ニ困難デ、豫算上困難ナ建前ニアル、唯之ガ軍ノ方ノ關係ト云フコトカラ見マシテ、國防上非常ナ重要ナ地位ヲ持ッテ居ル關係上、豫算ノムツカシイ中カラソレヲ計上シテ行クト云フヤウナ事情ニナッテ居ルノデアリマシテ、今回提案シテ居リマス豫算ノ金額ヲ以テ是ガ満足デアルト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル譯デアリマセヌガ、今申上ゲタヤウナ事情カラ致シマシテ、今年度ノ豫算ニ於テハ、只今説明シタヤウナ程度ノ豫算ヲ以テ御協賛ヲ願ッテ居ル譯デアリマス、同時ニ之ヲ今年ノ追加豫算ヲ以テスルト云フコトモ從ッテ相當困難ナ事情ガアルト考ヘテ居リマスガ、自分ト致シマシテハ前内閣ノ計畫シタ豫算ヲ認メテ提案シテ居ル次第デアリマスカラ、明年度ノ豫算編成ノ場合ニ於テ、自分ガ此ノ現職ニ居リマス場合ニ於キマシテハ、十分只今柴田委員ノ御意見ノヤウナ點ヲ考ヘマシテ、今一段進シテ計畫ヲ豫算ノ上ニ於テモ認メラレルヤウニ努力致シタイト考ヘテ居リマス、是ダケヲ政府側ノ答トシテ申上ゲテ置キマス

○政府委員(村上富太郎君) 只今柴田委員ノ仰セノヤウニ、今年度殖ニマシタモノハ三十何萬圓デアリマスガ、從來ノ豫算ガ既ニ百三十何萬圓アリマス、サウシテ從來ノ豫算ノ施設ハ、大體ニ於テ民有牧野ノ改良維持、積極的指導ト云フ方ニ注ガレテ居リマシタカラシテ、將來ノ建前モソレヲ主トシテ參リマスコトニ於テハ依然トシテ變リハナイ積リデ居リマス、唯一部今度國有

林等ニ於テ開放セラレマス所ハ相當遠隔ノ地デアリマシテ、民有デ經營セシムル場合ニ於テハナカ／＼經營ガ困難デアル、斯ウ云フヤウナ所ニハ國營デ之ヲ實行致スノデアルト斯ウ云フ譯デアリマス、從來ノ民有牧野ハ何處迄モ之ヲ維持改良セシメテ、此ノ方ニ主力ヲ盡サナケレバナラス、其ノ方針ハ變リハナイノデアリマス、ソレカラ牧野ノ豫算モ、牧野法制定ノ當時ニ於テハ僅カニ二十何萬圓デアリマシタモノガ、次第進ミマシテ、昨年ヨリ今ミタイニ百三十數萬圓ニ達シタ次第デアリマス、將來ハ只今大臣ノ述ベマシタヤウニ十分ノ之ガ擴充ニ付テハ私共モ努力シタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○柴田兵一(郎君) 只今政府委員ノ御懇切ナル御答辯ニ與リマシテ大體諒致シマシタ、唯民營ト國營ト兩建ニシマシテ、之ヲシテ何處迄モ兩立サセテ戴キタイノデアリマスカ、ドウカスルト昔カラ二兎ヲ追フ者ハ一兎ヲ得ズト申シテ居リマス通り、其ノ弊ニ陷ラナイヤウニ實ハ念願スルモノデアリマス

○菅澤重雄君 私モ二三質問ヲシタイノデスガ、馬政ノ問題ハ國防上ニ是ハ關係スルモノデアルガ故ニ、軍部ニモ互ツテ質問ヲシタイト思ヒマスガ、今民間ノ產馬事業ノ私ハ業態ヲ見ルト至ッテ振ッテ居ラナイ、斯ウ云フ狀態デアルト考ヘル、ソコデ軍馬ニ買上ゲル所ノ馬ノ値段ガ、今ドノ位デ一頭買上ゲテ居ルカト云フコトハ、產馬事業ガ算盤ニ乘ラナイト云フ所カラ、我々ノ地方ナドハ大抵馬ヲ止シテ朝鮮牛ニ變ヘテ居ル、ソコデ馬ガ段々減ッテ來ルノデ、一朝有事ノ際ニ徵發シヨウト思ヒマシテモ、馬ガ不

足デアルト云フコトヲ我々ハ常ニ考ヘテ居ルノデ、此ノ點ニ付テ、私共ハ產馬事業ガ少クモ農家ニ取ツテ幾分ノ算盤ニ乗ルト云フヤウナ工合ニ、馬政局デ馬ヲ買上ゲテ戴キタイ、ソレカラ其ノ馬ヲ、今度ハ軍部デ何年カ使ッテ、餘リニ長ク使ハナイデ、其ノ馬ヲ民間ニ矢張り安く拂下ゲテ、サウシテ常ニ馬ノ數ヲ國防上必要ノ限度ニ蓄積シテ置ク、斯ウ云フヤウナ方針デナイト、此ノ馬ト云フモノハ、先程農林大臣ノ仰シヤッタ通り飼料ノ關係デサウ澤山馬ヲ飼ッテ置クコトガ農家デハ經濟上出來ナイ、斯ウ云フヤウナ見地カラ、現在買上ゲル所ノ値段ガドノ位デアルカト云フコトモ伺ヒタイシ、併セテ其ノ拂下ヤ何カノ狀況モ、民間ニ拂下ゲル所ノモノモ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ、此ノ間農林省關係デ此ノ福島縣ノ矢吹原ヲ千六百町歩開墾スルト云フコトニ付テ私ハ質問ヲ致シタノデスガ、福島縣ノ矢吹原ハ現在牧野デハナイカト私ハ考ヘタノデスガ、元來東北地方ハ、米ヲ產スル土地デハナクテ產馬ノ本場デア

ル、其ノ牧野ヲ減ラシテ、サウシテ開墾ヲシテ多大ノ金ヲ要シテ米ヲ作ル、開墾ヲスルト云フコトハ、此ノ牧野法カラ見テモ、又大局カラ考ヘテモ、東北ニ米產地ヲ獎勵スルト云フコトハ矛盾シテ居リハセヌカ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルノデ、是ト關聯スルコトデアルカラ、此ノ點モ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ產馬ノ事業ニ對シテ、其ノ獎勵ノ意味ニ於テ現在ノ競馬ガドレ程ノ效果ヲ生ジテ居ルカ、私ハ此ノ競馬ニ付テ政府ニ納付スル金ハ、全部產馬事業ニ投ジテモ然ルベキデハナイカト考ヘルガ、斯ウ云フヤウナ金ニ付テノ使途ハ

ドウ云フ風ニ政府ハ考ヘテ居ルカ、先ヅ此ノ點ニ付テ政府ノ所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(島田俊雄君) 私ヨリ概略ノ點ニ付テ御答ヲ致シタイト思ヒマス、買上ノ値段或ハ拂下ノ關係等ニ付キマシテハ政府委員ヨリ御答ヲシタイト思ヒマスガ、先刻申上ゲマシタヤウニ馬ハ飼フト云フト非常ニ金ガ掛ル、ソレデ菅澤君ノ御話ノヤウニ之ヲ算盤ニ合フヤウニト云フコトヲ考ヘルト、此ノ馬產ト云フコトニ付テハ、合ハナイヤウニスルト云フコトハ無論考ヘラレス譯デアリマスケレドモ、ソコニ他ノ家畜ト趣ヲ異ニシテ居ル點ガ、無論御承知デアリマスコトデアリマスケレドモ、アルノデアリマシテ、牛ト馬ト云ヒマシテモ、馬ニ付テハ、馬ヲ飼フ者ハ馬ヲ飼フト云フトニ付テ馬主ハ一種非常ナ特殊ナ趣味ト言ヒマスガ、愛著ト言ヒマスガ、サウ云フモノヲ持ッテ居ルノデ、東北アタリデヤッテ居ル全體ノ事情カラ考ヘマシテ、無論高く賣レバソレハ賣リタイ、算盤ニ合ヘバ合ハシタイト云フコトハアルノデアリマスケレドモ、飼料其ノ他ノ關係カラ致シマシテ多少損ガ行ッテモ、馬ヲ手放スノヲ惜シム、斯ウ云フ情誼ガ馬ト人トノ間ニアリマスノデ、サウ云フ關係ガ矢張り此ノ馬產ノ關係ニ密接ニ結び付ケラレテ居ルト思フノデアリマス、從ッテソレ等ニ付キマシテハ、無論農家ガ何時迄モ之ヲ損ヲシテヤルト云フヤウナ建前デ行クコトハ許サレナイコトデアッテ、是ハ政府トシテモ十分其ノ點ニ付テ施設宜シキヲ得ナケレバナラスノデアリマスケレドモ、ソコニサウ云ッタヤウナ他ノ關係モアリマスノデ、忍ブ限リハ忍ビデ馬ヲ飼

フ、斯ウ云フヤウニナッテ居ルノガ實情デア
ラウト考ヘマスノデ、ソコデ其ノ點ヲ矢張
リ政府トシテハ見マシテ、サウシテ左様ナ
關係ガアルカラシテ、少々馬ヲ飼フ者ハ損
ヲシテモヤッテ居ルト云フヤウナ考ヘ方デハ
宜シクナイト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點
ニ付キマシテハ、他ノ家畜ノ場合ト幾分か
趣ヲ異ニシテ居ル點ガアルト云フコトヲ見
テ行カナケレバナラヌノデハナカラウカ、
ソレト云フノハ、結局馬ノ造成ト云フコト
ニ付キマシテ、矢張り費用ガ外ノ動物ヨリ
モ多ク掛カルト云フ點ガソコニ關係シテ來
ル次第デアリマス、政府ハソレ等ノ點ニ付
キマシテハ、注意ヲ拂ヒナガラ此ノ計畫ヲ
進メテ行クノ必要ガアルト、斯様ニ考ヘテ
居ルノデアリマス、矢吹原ノ開墾ノコトニ
付キマシテハ、之ガ牧野デアツカ、ソコノ
所ハ此處ニ居リマス政府委員ハ馬政局關係
デアリマスカラ存ジテ居ラスカモ知レマセ
ヌノデ、是ハ後ノ機會ニ調ベテ申上ゲマス
ガ、此ノ點ハ既ニ國營トシテ開墾スル
云フコトニナリ、東北地方ノ開墾ハト云フ
御意見モアリマシタガ、併シ食糧問題ノ方
カラ考ヘマスト云フト、東北地方ノ昨年ノ
米作ニ於ケル東北地方ノ貢獻ト云フコトハ、
是ハ見通スコトノ出來ナイコトデアリマシ
テ、天候不良ナ場合ニハ冷害等ノ爲ニ害ヲ
受ケマスケレドモ、昨年ノヤウナ、普通ノ
場合ハ米ノ非常ニ良ク出來ルト云フ地方ガ、
早害デヤラレト云フヤウナ時ニハ、此ノ
東北方面ガ非常ナ豐作ヲ以テ、此ノ兩方ノ
權衡ヲ維持スルト、斯ウ云フヤウナ關係ニ
ナッテ居ルノデアリマシテ、東北方面ノ此ノ
廣イ場所ニ於テ、牧野ノ關係カラモ觀ナケ
レバナラヌガ、開墾適地ト云フ方カラモ觀

テ行クノ必要ガアラウト存ジテ居ルノデア
リマス、ソレカラ競馬ノ納付金ト云フモノ
ニ付テノ處置、之ニ付キマシテハ更ニ政府
委員カラ御答ヘ致シマスガ、競馬ノコトニ
付テハ屢、議論ガ出ルノデアリマスガ、競
馬ヲスルト云フコト自體ガ、直接ニ馬産ノ
上ニ影響スルト云フヨリモ、競馬ト云フコ
トガ、馬ニ關スル思想ヲ國民ニ普及セシム
ル、斯ウ云フコトニ於テ貢獻ノアルコトハ、
是ハモウ疑ノ無イ所デアリマス、ソコデソ
レガ一ツノ原因トナリ、矢張り競馬ノ實際
ニ於テハ馬ノ改良其ノ他ニ於テ、趣味ヲ覺
エツ、向上ヲ圖ルト、斯ウ云フコトカラ出
來テ居ルト云フヤウニ考ヘザルヲ得ナイ、
左様ニ政府トシテハ考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、其ノ納付金ノ使途ニ付キマシテハ、
大體ハ御質問ノヤウナ意味ニ是ハ使用サレ
ツ、アルト考ヘテ居リマスガ、尙詳細ノコ
トニ付キマシテハ政府委員ヨリ御答ヘ申上
ゲマス

○政府委員(村上富士太郎君) 軍馬ノ購買
價格竝ニ拂下價格ノコトニ付キマシテハ、
此處ニ陸軍省ノ福富騎兵中佐ガ居リマスカ
ラ、御許可ヲ得テソチカラ御答辯ヲ御願
ヒ致シマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテ申上
ゲマス、競馬ノ收入ハ昨年度ニ於キマシテ
約二千萬圓ニ上ッテ居リマス、而シテ此ノ收
入ハ、競馬法ノ條文ニモアリマスルヤウニ、
一部ヲ社會事業ニ充テル外ハ、全部之ヲ馬政
ノ爲ニ使フノデアリマス、而シテ實際問題
トシテハ、昨年度ノ馬政ノ方ノ經費ハ、全
體デ二千七百三十五萬圓餘ニナッテ居リマ
スノデアリマスカラ、競馬カラ上ッテ參リ
マス收入以上ノモノヲ馬政ノ方ニ使フコト
ニナッテ居リマス、殊ニ本年度ニ於キマシ
テハ、更ニ是ガ一層増額サレマシテ約三千
九百萬圓位ノ馬政ニ關スル費用ガアリマス
ノデ、競馬カラ揚ッテ來マス所ノ收入以上ノ
モノガ馬政ノ爲ニ使ハレル、斯ウ云フコト
ニナッテ居リマス、ソレカラ競馬ノ目的ハ、
是ハ唯今大臣カラ答辯ノアリマシタヤウニ、
一面ニ於テ馬事思想ノ普及ト云フコトト、
他面ニ於テ輕種ノ種馬ノ取得ト云フコトガ
重大ナル所ノ使命デアリマス、軍馬ニハ矢
張り一定量ノ血量ガ混ッテ居ルコトヲ必要
トシマス、而シテ輕種ノ種馬ヲ取得スルノ
ハ、競馬ヲサシテ、即チ競馬ニ依ッテ成績
ノ良カッタモノヲ種馬ニ致スト云フ方針ガ、
一昨年ノ内地馬政計畫ニ依ッテ決定致シマ
シタ、從ッテ競馬ハ今後一面ニ於テハ、輕種
ノ種馬ノ取得機關トシテ重要ナル所ノ地位
ヲ占メルモノデアリマス、斯様ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 陸軍關係ノコ
トニ付キマシテ、陸軍當局カラ説明員トシ
テ御説明ヲ希望シテ居ラレマスガ、御異議
ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○説明員(福富伴藏君) 説明員トシテ福富
中佐カラ御質問ノ點ニ御答ヘ申上ゲマス、
第一點ノ軍馬ノ購買價格デゴザイマスガ、
是ハ購買ニ當リマシテハ馬ノ資格ヲ慎重ニ
判定ヲ致シマシテ、其ノ生産費ナリ或ハ市
價、サウ云フモノヲ十分參酌致シマシテ、
適正ナル價格ヲ以テ購買スルヤウニ努メ
テ居ルノデゴザイマス、大體其ノ價格ハ、
事變前ニ比シマシテ、事變後ノ馬ノ市價ノ
騰貴ニ伴ヒマシテ逐次増額ヲ致シマシタ、
目下ノ所、幼駒ニアリマシテハ大體平均ガ
三百八十圓デアリマス、ソレカラ壯馬ニ於
キマシテハ大體平均ニ致シマシテ四百三十
圓、此ノ平均價格デゴザイマスガ、此ノ範
圍内ニ於キマシテ馬ノ用役ナリ資格ニ應ジ
テソレノ相當ノ差異ガアルノデゴザイマ
ス、此ノ範圍内ニ於テ適正ナル價格ヲ以テ
購買スルヤウニ努メテ居リマス、ソレカラ
第二點ノ、軍馬ヲ成ルベク多ク民間ニ拂下
ゲテ馬産ノ振興ニ資シタラドウカト云フ點
デゴザイマスガ、此ノ軍馬ハ、御承知ノヤ
ウニ非常ニ或程度ノ調教ヲ要スルノト、ソ
レカラ豫算其ノ他ノ關係、特ニ軍馬ノ能力
ト云フヤウナ問題モ關聯致シマシテ、大體
目下ニ於キマシテハ軍馬ノ補充率ハ八分ノ
一乃至十分ノ一ト云フ程度デ補充ヲシテ居
リマス、其ノ補充ノ際ニ尙餘力ガアツタ場合
ニハ、陸軍豫備馬貸付規則ニ依ッテ民間ニ貸
付ケテ居ル次第デゴザイマス、以上ノヤウ
ナ次第デゴザイマシテ、目下ノ所、是以上
軍馬ノ拂下ナリ貸付ナリヲ殖スト云フコト
ニ付テハ困難ト考ヘテ居リマス

○菅澤重雄君 序デスカラ軍部ニモウ少シ
御尋ネシタイト思ヒマス、現代ノ戰爭ハ科
學戰ト云フヤウナコトデ、新兵器等ガ出來
テ餘リニ馬ノ必要ガナイノデハナイカ、ト
云フヤウナ一面ニ於テハ考モアルノデスガ、
矢張り戰爭ノ規模ガ大キクナツタリ、又新兵
器ガ出來マシテモ、軍馬ト云フモノハ將來
モ必要デアラウカドウカ、其ノ點ヲチョット
御尋ネ致シマス

○説明員(福富伴藏君) 是ハチョット速記
ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 速記ヲ止メテ
下サイ

〔速記中止〕

○委員長(侯爵小村捷治君) 速記ヲ始メ

テ……

○菅澤重雄君 日滿支ノ經濟「ブロック」、日滿支ノ經濟提携ト云フコトデ、大變日滿支ノ問題ガ色々問題ニ上ルノデアリマス。ケレドモ、馬トカ、或ハ棉花トカサウ云フヤウナモノハ、滿洲ノ地ニ於テ政府ガソレノ施設ヲ致シマシタナラバ、内地デヤルソレヨリモ非常ニ施設ヲ少クシテ效果ノ甚大ナルコトガ望マレルノデヤナカト云フコトヲ私モ考ヘルノデスガ、ドウモ政府ノ施設ガ日滿支ヲ一ツニシタ「ブロック」ノ本當ノ計畫ガ餘リニ樹ッテ居ナイヤウニ思ハレルノデ、唯掛聲ノミデ色々集會、或ハ書イタ物等ニ於テ見ルダケデ、其ノ實績ノ舉ラヌコトヲ私共常ニ痛感シテ居ルノデスガ、羊ヲ飼フトカ、馬ヲ飼フトカ云フコトハ、滿洲ニ於テモウ少シ大規模ニ計畫ヲ樹テタナラバ國策ニ副フノデハナイカト考ヘルノデアリマス、農林省デハサウ云フ考ヲ持ッテ居リマセヌカ

マシテ、逐次改良ヲ促進スルノ外ニ、銳意馬ノ増産ニ努メ、別ニ爲シ得ル限り多數ノ有能日本產馬ヲ移民地其ノ他ノ所要地ニ増産致シマシテ、馬ノ増加ヲ圖ルヤウ措置スルコト、斯ウナッテ居リマス、而シテ實際問題トシテ滿洲ニ於ケル現狀ノ馬產ハ我々ガ一般ニ考ヘテ居ル程ニ、左様ニ發達シタモノデナイノデアリマシテ、現在ノ馬ハ其ノ儘持ッテ參リマシテハ、有能ナル所ノ戰列部隊所要ノ馬トナリマセヌ、ソコデ滿洲ニ於キマシテハ至急ニ滿洲ノ馬ヲ改良スル必要ガゴザイマス、ソコデ種馬等モ一部内地カラ供給シテ居リマス、又此ノ小格驕馬ヲ造リマスニ付キマシテモ、之ヲ一氣呵成ニ造ル譯ニ參リマセヌノデ、然ルガ爲ニ當分ノ内ハ有能ナル所ノ軍所要ノ有能馬ニ付キマシテハ、内地カラ之ヲ移植スルト云フ計畫ヲ樹テテ居リマス、ソレデ明年ヨリ相當數之ヲ計畫的ニ滿洲ニ移植シテ居ルヤウナ實情デゴザイマス

○委員長(侯爵小村捷治君) チョット御諮リ致シマス、他ニ御急ギノ質問ガゴザイマセヌケレバ、四條侯爵カラ委員外ノ質問ノ御希望ノ申出ガゴザイマシタガ許可シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵小村捷治君) ソレデハドウゾ……

○委員外議員(侯爵四條隆德君) 委員會ノ御許ヲ得マシテ質問ヲ申上ゲマス、其ノ第一ハ此ノ法案ノ要旨ハ牧野ノ擴大ニ外ナラナイノデアリマスニ依ツテ、日本ノ國內保有馬ノ頭數ノ増産計畫ニ伴フベキモノデアリカ、或ハ國內保有馬ハ從來通りノ頭數デアリ、牧野ダケヲ擴大スルカト云フ問題ニ付テ御質問申上ゲタイノデアリマス、即チ日本ノ國內保有馬ハ日露戰爭當時カラ少シモ數ガ變ラナイデ百五十萬、現在ニ於テモ百五十萬頭ヲ維持スルガ、只今軍當局カラ御説明ガアッタヤウニ、私モ去年ノ軍馬資源保護法案ノ委員會ニ於キマシテ、矢張り速記ヲ止メテ、將來軍馬ノ要ル數並ニ戰時ニ於ケル日露戰爭當時ト戰列部隊ノ馬ノ數ガ變ッテ來タト云フ確タル數字ヲ承ッタノデアリマス、サウ致シマス、當然馬ハ國內ニ於テ増産計畫ガナクテハナラヌ、ソレ故ニ牧野モ斯クノ如ク擴大計畫ヲ爲サレタノデアラウト斯ウ考ヘタノデアリマス、然ルニ日本ノ馬政計畫ハ昨年モ拜見致シマシタガ、此ノ國內馬政計畫ノ第一ノ方ニ書イテアル、日本ニ於テハ五歲以上十七歲以下ノ軍用適齡馬ヲ〇頭トスル、此ノ馬政計畫ハ一般ニ行ハレテ居ル計畫ト異ル點ハ期限ガ無制限デアアル、普通斯ウ云フ計畫ハ五年デ切ルトカ、更ニ五年先キハドウスルト云フ風ナ期限附ノモノガ普通デアアル、「ロシア」ニ於テモ五箇年計畫ト云フヤウナ風ナ大キナ計畫ヲヤッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマシテ、是ハ無制限デアアル、此ノ事ニ付テハ此ノ計畫計畫ガ無期限デアルト云フコトニ付テハ、昨年モ委員會ニ於テ隨分質問ガアッタ、矢張り無期限デアリ、馬ノ頭數ハソレデ宜イノダト云フ御答ガアッタ、サウスレバ今同此ノ國內ノ馬數ヲ、増産計畫ニ伴ッテ此ノ法案ガ出來タトスルナラバ、當然馬政計畫ニ變更ヲ來スベキデアルト斯ウ考ヘテ、ソレニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ、且ツ從來ニ於テモ牧野ガ足りナカッタト云フ聲ハ屢々聞クノデアリマス。ケレドモ、兎モ角日露戰爭以後今迄、百五十萬頭ヲ今迄ノ牧野

ガ維持シテ來タト云フコトガアルノデ、急ニ此處ニ牧野ガ足りナカッタト云フ大キナ原因ガ現レタナラバ格別、然ラズンバソレハ深ク考ヘラレナイ、又此ノ狹イ日本ノ土地ニ於テ植林モシナケレバナラヌ、開墾モシナケレバナラヌト云フヤウナ狀況デ、サウ牧野ニばかり土地ヲ使フコトハ出來ナイト云フヤウナ考ガアルノデ、此ノ質問ヲスル譯デアリマス、第二ノ質問ト致シマシテハ、斯クノ如キ牧野ト保有馬トハ密接ナ關係ガアル、現在ノ日本ノ牧野ニ於テハ、日本デハ何頭馬ヲ保有スルコトガ出來ルカ、更ニ此ノ法案ニ依リ牧野ガ擴大サレタ時ニハ、何頭迄馬ヲ持チ得ルカト云フ數字ハ、當然研究サレテ居ラナケレバナラナイ、此ノ數字ヲ教ヘテ載ケレバ結構ダと思ヒマス、次ニ第四ニ伺ヒタイノハ、斯ウヤッテ牧野ヲ擴大シテモ兎モ角モウ茲迄足りナクナッタト云フナラバ、先キノ見エタ話デ、サウ云フヤウナ時ニ更ニ馬ノ増産ヲ圖ルト云フコトハ國內ニ於テハ出來ナイ、其ノ場合ニハ如何ナル方法ヲ執ルカ、是ハ早晚來ル問題デアアル、其ノ時ノ處置ヲドウスルカト云フコトガ、將來ノ日本ノ馬產ニ最モ關係ガアル、此ノ點ニ付テ御研究ニナツタナラバ、御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(村上富士太郎君) 此ノ度ノ牧野法ノ改正ハ、之ニ依リマシテ内地ニ於ケル所ノ保有馬ノ増加ヲシヨウト云フ譯デハゴザイマセヌ、内地ニ於ケル所ノ馬ハ、現在ニ於キマシテハ百五十萬頭ヨリ、徵發等ノ爲ニ相當ニ減ッテ居リマス、從ッテ之ヲ速カニ恢復スル必要ハ認メテ居リマス。ルガ、ソレ以上ニ馬ヲ増加スルコトハ、現狀ニ於テハ、内地ニ於テハ困難ト認メマス、從ッテ

此ノ日滿ニ互ル所ノ馬政國策其ノ他ニモアリマスルヤウニ、一面ニ於テ滿洲或ハ外地ニ於ケル所ノ馬産モ進行致シマシテ、日滿其ノ他ヲ通ジテ軍所要ノ馬ヲ維持シナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デゾイマス、

而シテ内地ニ於キマシテハ、從來ノ牧野ニ依ッテ百五十萬頭ヲ維持シテ來タデハナイカト仰セラレマスガ、成ル程數ハ維持シマシタケレドモ、是ハ馬ノ質ニ於テハ缺クル所ガアリマシタ、四條侯爵御承知ノ通り内地ノ馬ニハ骨軟症等モ多ク、實際ノ戰場ニ於テ、十分ノ役ヲ達スルコトガ出來ナカッタト云フヤウナ馬モ相當アリマシタ、從ッテ此ノ度ノ馬政計畫ニ必要トスルヤウナ低身廣軀ニシテ、四肢強健ナ馬ヲ產出スルニハ、ドウシテモ幼時ニ於テ放牧シテ、筋骨並ニ心臓ヲ鍛ヘナケレバナラヌ譯デアル、之ガ爲ニハ從來ノ牧野デハ足りナイ、之ヲ相當ニ増サナケレバナラヌト思ヒマス、而シテ此ノ度牧野法ノ改正ニ依リマシテ、ドレダケ牧野ヲ増シ得ルカト云フコトハ、是ハ只今調査中デアリマシテ、確ニハ申サレマセヌガ、國有林等ニ依ッテ開放サレモノガ、北海道ニ於テ約二十八萬町歩、内地ニ於テ約六萬町歩ト考ヘラレマス、又北海道ノ未利用地ヲ牧野化スルコトニ依ッテ約二十數萬町歩出來ル、斯様ニ牧野ガ茲ニ擴大致シマスト假定致シマシテモ、之ニ依ッテ内地ニ於ケル所ノ保有馬數ヲ十分養ヘルカドウカト申シマスルニ、北海道ニ於テ大體ニ於テ十分トハ思ヒマスガ、内地ニ於テ此ノ度相當擴大セラレタトシマシテモ尙十分デハナイノデアリマシテ、是等ニ付キマシテハ牧野ヲ十分ニ改良致シマシテ、草生量ヲ増スコトデアルトカ、其ノ他尙混牧林ヲ考ヘテ尙

牧野ヲ擴大致サナケレバ、現在ノ内地ノ馬數ヲ以テシテモ牧野ハソレデハ十分デナイ、牧野ニ付キマシテハマダ一層擴大ヲ致サナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、

○委員外議員(侯爵國條隆德) 只今ノ質問ニ依ッテ現在ノ馬ニ於テモ牧野ガ足りナイト云フコトニナリマスレバ、能ク話ハ分ルノデアリマスガ、ソレナラバ更ニ此ノ僅少ナル牧野デ、強健ナ馬ヲ造ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、殊ニ現在此ノ法案實施ニ依ッテ、擴大サレタ牧野ニ於テ何頭位ノ馬ガ飼ヒ得ルカト云フコトハ、現在ノ馬デモ更ニ足ラヌト云フコトニナレバ、是ハ數字の凡ソ判斷ノ付クコトデアルト思ヒマス、ソレニ付テモ斯ウ云フ數字のノコトハハッキリ計算カラ致シテ置カナケレバ、此ノ國內ニ保有スル馬ノ數ト云フコトガナカナカオナカニ入ラナイ、要スルニ馬政計畫ノソレガ本デアラウト思フ、斯様ナ次第デ、丁度馬政計畫ノ實施要領ト云フ所ノ第六項ニ、一番最後ト思ヒマス、東亞ノ馬政ヲ振興スル爲ニ、科學的研究ノ處置ニ俟ツ所ガ多イカラ、綜合研究所ヲ造ルト云フコトガ實施要領ニ書イゴザイマス、恐ラク其處デハ密接ナ關係ガアル牧野ニ關スルコトモ研究ヲシツ、アルト斯ウ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ數字のノコトハ恐ラク科學的研究ノ入門ノ極ク初メノコトデアアル、斯ウ云フ馬ノ研究所デ、牧野ニ付テモ更ニ研究サレルノデアルカ、或ハ牧野ハ又別ニ斯ウ云フ研究機關ヲ設ケルノデアルカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、次ニ此ノ牧野ニ付テモ、例ヘバ現在日本デハ「アングロノルマン」種ヲ以テ統一シテ行カウト云フ

フ馬政計畫ガ、此ノ馬政計畫實施要領ノ中ニ見ラレル、サウ考ヘマスレバ、「アングロノルマン」ハ「フランス」ノ「ノルマンディ」地方ノ平坦ナ所デ生産サレル、日本ノヤウナ所デ牧野ヲ當嵌メレバ當然傾斜地モ多ク含マナケレバナラヌ、サウ云フ所デ宜シイカト云フヤウナ問題モアリマスシ、細カイ科學的研究ト云フコトハ、牧野ガ切離シテ研究スルコトハ、馬ニ對シテハ當然此ノ馬ノ研究所デ研究サレナケレバナラヌ、ソレ故ニ此ノ馬ノ研究所、特ニ此ノ馬政計畫實施要領ノ中ニ出テ居リマス所ノ科學的綜合研究ト云フモノハ、相當急務ヲ要スル、是ガアツテ實施ニ著手出來ルモノデアアル、此ノ研究所ハ、更ニ昨年モ既ニ手ヲ御著ケニナルヤウナ御話ガアツタ、ドウ云フヤウナ方針デ如何ナル程度ノ……是ハ莫大ナ豫算ヲ要スルモノト考ヘル、ドウ云フヤウナ豫算デ、此ノ牧野ニ對スル、又馬ニ對スル研究所ガ設置サレテ居ルノカト云フコトニ付テ伺ヒマス

○政府委員(村上富士太郎) 只今ノ四條侯爵ノ御質問ハ誠ニ御尤モナコトデ、馬ニ關スル研究所ヲ速カニ設置致シマシテ、其ノ重要ナル部分ト致シマシテ、牧野ノ問題ヲソレニ含メテ研究スルト云フコトハ極メテ必要ト思ヒマス、只今ノ處、牧野等ノ研究ハ、一部、山林局ノ林業試驗場等ニ於テ研究シ、又我々ノ方デ種馬牧場等ニ於テ研究シテ居ルト云フヤウナ、斷片のナ研究ニ止リマスコトハ、私共モ此ノ點遺憾トシテ居ル次第デゾイマシテ、之ヲドウシテモ一ツノ中央機關ノ一部トシテ、只今仰セニナツタヤウナ「アングロノルマン」ヲ飼フ場合ニ於テ、傾斜地デモ宜イカドウカト云フ

ヤウナコトモ、根本的ニ研究スル必要ガアラウト思ヒマス、ソコデ牧野ノ研究機關ニ付キマシテハ相當具體的ノ計畫ヲ持ッテ居リマスガ、マダ明年度ノ豫算ニ之ヲ計上スルニ至ッテ居リマセヌコトハ誠ニ遺憾デゾイマス、併シナガラ、敷地等ニ付キマシテモ、相當ニ將ニ具體化セムト致シテ居リマス、ソレカラ設備ニ付キマシテモ、大體ニ於テ基礎的ノ計畫ガ出來上リマシタノデ、出來得レバ昭和十六年度ニ於テハ之ガ新設ヲ致シタイト、我々ハ銳意畫策、實現ニ努力中デゾイマス

○委員外議員(侯爵國條隆德) 只今ノ御話デ、昭和十六年度ニ於テソレヲ行フ、詰ル處、少シ斯ウ云フ研究ガ先キニ立ッテ、斯カル法案ガ具體的ニ生レテ來ルト云フコトナラバ極ク分ルノデアリマスガ、サウ云フ研究ガ色々實施ニ後レテ後ニナルト云フコトハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、將來サウ云フ方面ニ向ッテ進行スルト云フコトデ、私ハ了承致シマシタ、更ニ牧野ガ必要デアルト云フコトハ、先程來承リマス、強健ナル馬ヲ造ル、能力アル馬ヲ造ルト云フコトニ付テ最モ必要デアアル、是ハ恐ラク馬ノ育成中鍛鍊ニドウシテモ缺クベカラザルモノデアルト云フコトニ、私モ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレニ付キマシテモ、此ノ馬政計畫ニ依リマス、日本ノ種馬ハ、持久力ノアル強健ナモノヲ、能力ヲ檢定シテ取ッテ行カウト云フコトガ言ハレテ居ル、是ハ如何ニモ能力本位ニ日本ノ馬ヲ改良シテ行クコトニ付テ適切ナ考デアアラウト思フノデアリマス、ソコデ、競馬ハ、實際ニ馬ノ能力ヲ檢定シテ、種畜ノ選定ヲ容易ナラシメルト云フコトガ第一義デアアル、是モ競馬ノ

本體カラ云ツテ左様デアルト考ヘルノデアリマス、併シ昨年ノ委員會ノ席上デ伺ヒマシタ處、此ノ競馬ニ出ル純血種ノ種馬ハ、一年ニ二十頭輸入シテ補充スル、要スルニ公認競馬ト云フモノハ、昨年ノ春ヨリ半血種ノ出走ヲ禁ジタ爲ニ、全ク二十頭ノ馬ノ補充ノ爲ニ、十一競馬ヲヤルヤウニナッタ、マア二十頭デモ、假令一頭デモ取ルトナレバ、アレダケノ騷ギヲシテ差支ナイノデアリマス、併シ詰ル處、毎年補充スル種馬ノ數竝ニ其ノ各種別ニ付テハ昨年十分伺ツタ、詰ル處、此ノ「サラブレッド」二十頭ニ對スル所ノ補充競馬デアルト云フコトニ今ナツテ居ル、然ルニ大部分ノ補充馬デアル所ノ馬ハ、是ハ半血種ヲ採用シテ居ル、此ノ頭數モ全部昨年ノ種馬統制法ニ依ツテ伺ツタ、而モ政府ノ牧場ニ於テ生産スル種馬ハ數ハ非常ニ少イ、大部分矢張り民間カラ買上ゲナクチヤナナイ、此ノ能力本位ニ蕃殖シテ改良シテ行クベキ所ノ、而モ其ノ本デアル所ノ種馬ノ、而モ半血種ノ種馬ノ能力ノ檢定ノ方法トシテハ、從來ハ公認競馬ニ一部分出走シテ居リマシタガ、ソレハ昨午カラ出走シナイ、然ラバ地方競馬ニ於キマシテハ、今度ハ昨年ノ法案ニ依リ軍用鍛鍊馬ガ出走スルノデ、種馬ニ合格シテ居ル馬ハ走ラナイ、サウスレバ大部分デアルベキ所ノ中間種ノ能力ヲ檢定シテ、種馬ノ選擇ヲ容易ナラシムルト云フ競馬、是ハ意義ガ無クナツデシマウ、其ノ事ニ付キマシテ昨年伺ヒマシタ處、是ハ已ムヲ得ナイカラ、政府ニ於テ二歳デ買上ゲル、ソレカラ育成ヲスル、ソレカラ能力ヲ政府デ檢定シテ良イモノヲ使フ、更ニ五歳以上ノ牡馬購買ニ依ツテ得タル所ノ種牡馬ハ、是モソレト合セテ買ツテ

カラ後ニ檢定ヲシテ、ソレカラソレモ良イモノハ使フノデアル、要スルニ純血種ニ於テハ買フ前ニ檢定シテアルカラ無駄ガナイ、併シ半血種ニ於テハ、買ツデカラ檢定ヲシテ使フカラ、ソコニイケンイモノガ澤山能力不足ト云フ譯デ、廢馬ニナツテ行カナレバナラス、是ハ甚ダ當ラ得タコトデハナイケレドモ、兎モ角ソレニ依ツテ能力ノアルモノガ得テ行カレルト云フコトニ對シテハ差支ナイコトデアルカラト云フノデ、昨年ハ質問ヲ打切ツタ譯デアリマス、併シ此ノ半血ヲ購入後其ノヤウニシテ能力ヲ檢定スルト云フコトハ、單ニ國ガ云ヘバ非常ニ簡單デアルケレドモ、純血ガ二十頭デサヘモ、アレダケノ騷ギヲシテ「セレクト」シテ居ル譯デアリマス、大部分デアアル半血ヲ購入後能力ヲ檢定スルト云フコトハ、種馬牧場トカ、種畜場デ色々ヤルヤウナ御説モアリマシタケレドモ、是ハ具體的ニドウ云フ方法デ行ハレテ行クカト云フコトニ付テ、餘リ從來ト變ラナイト云フコトニナレバ……此ノ馬政計畫ガ去年色々法案ニ依リ變ツタニ付テ、從來ヨリ餘程進歩シナケレバナラス、其ノ點ニ付キマシテ十分ニ其ノ能力ヲ檢定シテ、半血ノ選擇ヲ嚴選出來ルモノデアルカト云フコトニ付テ、御意見ヲ承リタイ、是デ私ノ質問ハ終リマス

シテ、其ノ豫算ヲ今要求シテ居リマス、從ツテ此ノ豫算ガ成立致シマシタラ、少クトモ戰列部隊所要ノ馬ヲ生産スルダケノ種馬ニ付キマシテハ、全部ハ二歳ヨリ政府ノ方ニ於キマシテ十分ニ鍛鍊シテ、サウシテ其ノ實質ヲ檢定シ、ソレニ依ツテ適當ナ種馬ヲ造ツテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其ノ種馬ノ鍛鍊方法等ニ付キマシテハ、是ハ私ハ專門家デゴザイマセヌデスカラ只今此處デ御説明スル譯ニ行キマセヌ、何レ又六ノ機會ニデモ説明員等ヲシテ説明致サセス

○委員長(侯爵小村捷治君) 四條侯爵、モ立御質問ハゴザイマセヌカ……他ノ委員ヨリ御質疑ゴザイマセヌカ

○宮澤種雄君 アリマセヌ

○委員長(侯爵小村捷治君) ソレデハ四條侯爵ニ伺ヒマスガ、只今農林當局ノ専門家ノ方ガ説明員トシテオイデラ願ヒマス御希望デゴザイマスカ

○委員外議員(侯爵四條隆德君) 委員會ハ今日ダケデセウカ

○委員長(侯爵小村捷治君) 今日ハ事ニ依テマスト午後續ケテモ宜シイト思ツテ居リスガ、如何デゴザイマセウカ、今日午後御都合付キマスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 宜シウゴザイマスカ

○委員長(侯爵小村捷治君) ソレデハ少シ時間ガマダ早ウゴザイマスケレドモ、午前中ハ一應此ノ程度ニ止メマシテ、午後一時半ヨリ再開致スコトニ致シタイト存ジマスガ、御質疑ゴザイマセヌカ

○委員長(侯爵小村捷治君) ソレデハ午前

中ノ會議ハ是デ終リマス

午前十一時三十二分休憩

午後一時三十九分開會

○委員長(侯爵小村捷治君) ソレデハ只今カラ午前ニ引續キマシテ委員會ノ議ヲ續行致シマス

○柴田善三郎君 私ハ牧野ニ關スル知識ハアリマセヌガ、馬ニ關スル知識ヲ少シ持ツテ居リマス、午前中ニ軍用馬ノ資質ナリ所要數ノ御話ガアリマシタガ、今回ノ牧野法ノ改正ガ馬ノ資質ノ向上増殖、雙方ヲ目的トセラレテ居ルヤウデアリマス、先ヅ以テ馬ノ改良ト言ヒマスガ、資質ノ向上ト言ヒマスガ、ドンナ點ニ付テ最モ注意ガ要ルノカ、又増殖ニ付キマシテハ、色々ノ關係モアリマシテ、ソレノ御計畫ガアルト思ヒマスカラ、ドンナ御計畫ヲ持ツテ居ラレルノデアルカ、固ヨリ軍事上ノ秘密ニ關スルコト迄ヲ伺ハウトハ思ヒマセヌガ、此ノ場合説明ヲ戴ケレバ結構ダト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 馬ノ資質ノ向上ニ付キマシテハ昨年、一昨年ノ馬政計畫ノ改訂ニ依リマシテ、從來ノ乘馬本位ノ馬ヲ輕快馬本位ニ致シタイ、從ツテ從來ヨリモ相當體型等モ變ヘテ來マシテ低身、ズンダリシタ、サウシテ廣軀、身體ノシツカリシタ馬デ餘リ癩ノ強クナイ馬ヲ造ル、從ツテ輕快ナサラリトシタサウシテ癩ノ強イ馬ヲ避ケルト云フコトヲ主トシテ居リマス、從ツテ馬ノ血種ノ方カラ言ヒマス、ト「アラブ」系統、或ハ「アンダロアラブ」系統ト云フモノヨリモ「アンダロアラブ」系統ト云フ中間種ヲ主トシテ、之ヲ造ルト云フコトニ方針ヲ定メタデアリマス、併シナガラ「サ

ラブレットトカ「アラブ」ト云フモノモ、是モ全部無クナス譯デハナイノデ、矢張り此ノ中間種ヲ造ルニ於テモ、一部ハ矢張りサウ云フ輕種ヲ殘シテ置イテ、其ノ血ヲ少シツツ入レテ行カナイト、餘リ又鈍重ニ過ギマシテモ、軍馬トシテ役ニ立タナイ、サウ云フ意味ニ於テサウ云フ輕種モ無論保存シテ行キマスガ、最重要ハ中間種ニ於テヤル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ蕃殖計畫ニ付キマシテハ速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 速記ヲ

(速記中止)

○委員長(侯爵小村捷治君) 速記ヲ始メテ戴キマス

○柴田善三郎君 先程荒イ數字ノ御話ガアリマシタガ、軍用馬ノ關係ニ付テ馬ノ知識モチットモナイコトデスカラ、必要デアリマスカラ幾ラカ細カイ説明ヲ願ヘタラ結構ダト思ヒマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 速記ヲ再ビ中止シマス

(速記中止)

○委員長(侯爵小村捷治君) 速記ヲ始メテ戴キマス、午前中ノ四條侯爵ノ御質疑ニ對シマシテ、當局カラ更ニ多少専門ノ御説明ガアルコトニナツテ居リマシタガ、只今御見エニナツテ居ルヤウデゴザイマスカラ、説明ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ……

○説明員(佐々田伴久君) 一昨年確定致サレマシタ内地馬政計畫ニ依リマシテ、只今長官ヨリ一部御説明ノアリマシタ輕種ノ方ハ軍馬ノ目標デナクテ、中間種ニ重點ヲ置カレテ居リマス、從ヒマシテ所要ノ軍馬ヲ生産スルニ致シマシテモ、種馬ト致シマシ

テハ輕種ノ數ガ減リマシタ、中間種ノ數ガ非常ニ増シテ來タ譯デゴザイマス、ソレデ輕種ノ方ノ種馬モ全然要ラナイカト申シマスト、サウデハナイ、中間種ノ馬ニ牝性ヲ付與スルト云フヤウナ點カラ、相當數ノ輕種ハ要ルノデアリマス、是等輕種ノ種馬ニ付キマシテハ競馬法ニ依ル競馬ニ於テ、能力ノ檢定ヲ得タモノノ中ヨリ優良ナルモノヲ選定致シマシテ國ガ購買スルト云フ計畫ニ相成ツテ居リマス、其ノ外多數ノ中間種種馬、即チ今回ノ計畫ニ於キマシテ、最モ重點ヲ置カレテ居ル軍所要有能馬ノ中、乘馬、戰馬、戰列馬ノ種馬ニ付テデゴザイマスガ、是等ノモノハ將來競馬法ニ依ル競馬ニ於テ、輕種以外ノ馬ノ能力檢定ヲ止メルコトニ相成リ、自然是等ノ種馬ハ、競馬以外ノ方法ニ依ツテ能力檢定ヲ致シマシテ、サウシテ有力ニシテ有能ナルモノヲ選定シテ種馬トシテ供用スル必要ガアル、ソコデ只今政府ニ於キマシテハ今回ノ計畫ノ改變ニ依リマシテ種馬ノ數ガ非常ニ殖エタノデアリマスガ、其ノ中ノ一部ノモノハ從來ノ種馬育成所ニ於テ能力檢定ヲシテ使ツテ居ルノデアリマス、其ノ外多數ノモノニ付キマシテ如何ニスルカト云フコトガ問題ニ相成ル譯デアリマスガ、昨年モ貴族院ノ軍馬資源法ノ委員會等ニ於キマシテモ問題ニナツテ居ルノデアリマスガ、多數種馬ノ頭數ノ中、戰列部隊所要ノモノ、即チ乘馬、戰馬、戰列馬ヲ造ル種馬デアリマスカラ、ソレ等ノ生産ニ要シマスカラ種馬ニ付テハ、從來ノ育成所ダケノ施設デハ足リマセヌノデ、只今貴族院ニ於キマシテ其ノ御審議ヲ願ツテ居ルノデアリマスガ、御審議ガ濟ミマスカラナラバ、更ニ今一箇所種

馬育成所ヲ造リマシテ、尠クトモ今回ノ馬政計畫ニ於テ先づ重點ヲ置ク戰列部隊所要ノモノヲ造ル種馬ダケハ國自ラガ育成ヲシ、調教シ、有能ナルモノヲ選定シテ種馬ニシテ付クト云フコトニ相成ツテ居リマス、ソレカラ更ニ總種馬數ノ約半數デゴザイマスガ、其ハ候補戰馬級、所謂産業用馬級ノモノヲ生産スル種馬ナンデアリマスカラ、是等ノモノニ付キマシテハ、理想ト致シマシテ國自ラガ育成ヲ致シマシテ、補給ヲシタノデアリマスカレドモ、只今ノ情勢デハ足モ至難デゴザイマスノデ、地方廳ニ於テ施設ヲ致シテ居リマス種馬育成所、或ハ種畜場等ニ於キマシテ、國ノ種馬育成所ニ於テ實施シテ居リマス方法ニ準ジマシテ、將本種馬タルベキモノノ育成調教ヲ行ヒタス、サウシテ優良ナルモノヲ選擇シテ、之ヲ飼養スルト云フ方針デ參リタイト思ツテ居リマス、ソコデ是等ノ種馬ノ育成調教ニ對シテ、ドウ云フコトヲ要求シテ居ルカト云フコトヲ申上ゲマスレバ、只今國ノ種馬育成所ニ於キマシテハ大體乘馬ト戰馬ヲ育成シテ居リマス、是等ノ候補種馬デゴザイマスガ、候補種馬ハ二歳デ大部分民間カラ優良ナルモノヲ買ツテ飼養シテ居リマヘ、其ノ外二三歳ニ於キマシテ一ツノ牧場、奥羽牧場ト日高ノ牧場ヲ併セテヤツテ居リマスガ、ソレカラ兩牧場ニ於キマシテ生産シタルモノノ中ヨリ相當數有能ナルモノヲ二歳デ育成所ノ方ヘ送りマシテ、共ニ四歳ノ秋迄育成調教シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、大體二歳カラ三歳ノ間ガ先ヅ育成成本位ノ飼養管理ヲヤツテ居リマス、其ノ間ハ主トシテ是ハ放牧育成ヲ行ツテ、馬ノ資質ノ向上ヲ圖ツテ居リマス、ソレカラ三歳

ノ秋カラ四歳ノ秋迄ハ能力ノ鍛鍊調教ヲ行ツテ居リマス、サウシテ四歳ノ秋、能力ノ審査ヲ終ヘマシタナラバ、全國ノ種馬所ニソレゾレ優良ノモノダケヲ選ツテ配付シテ、大體ノ年齡カラ申シマスレバ五歳カラ種付ケヤル譯デアリマス、サウシテ調教ニ付テデゴザイマスガ、調教ハ三歳ノ秋カラ四歳ノ秋迄大體三期ニ分ケマシテ、其ノ發育ノ狀況ニ應ジテ程度ヲ高メテ參リマス、サウシテ一期、二期、三期ニ分ケテ、其ノ三期ノ終末ニ於キマシテ、大體乘馬ニ付キマシテハ負擔重量六十二「キログラム」、サウシテ歩度ハ三百五十「メートル」バカリノ駈歩ヲ要求シ、一部分驍步モアリマスガ、サウシテ六千「メートル」ノ距離ヲ而モ其ノ間三十箇ノ障礙ヲ敷設シテ、サウシテ其ノ馬ノ能力ヲ見テ居リマス、ソレカラ戰馬ニ付キマシテハ、五百十「キロ」ノ戰馬重量ヲ負擔サセマシテ、サウシテ七千「メートル」ノ總距離ノ中六千「メートル」ノ速歩、一千「メートル」ノ駈歩ヲ要求致シマシテ能力審査ヲ致シテ居リマス、更ニ此ノ戰馬ニ付キマシテハ、瞬間戰力ト云フモノヲ見ル爲ニ特ニ「ダイナモ・メーター」ニ依リマシテ、二回バカリ瞬間戰力ヲ審査シテ居リマス、是等ヲ要求致シテ心臓ノ力トカ或ハ馬ノ氣力ヲ見ル、或ハ速度ヲ見ル、更ニ必要ガアリマス際ニハ、餘力試驗ヲ行ヒマシテ其ノ馬ノ眞ノ能力ヲ見ル、斯ウ云フヤウナ方法ニ依リマシテ、國ノ育成所ニ於キマシテハ馬ノ育成、調教等ヲ行ヒ、更ニ四歳ノ秋ニ於テ能力ノ試驗ヲ致シマシテ、ソレノ優良ニシテ有能ナル種馬ヲ種馬所ニ配付シテ居ル譯デゴザイマス

○委員外議員(侯爵四條隆德君) 午前中伺

ヒマシタ簡潔な能力ヲ檢定スルト云フ方法ハ、只今御話デ、種馬育成所ノ檢定所トシテ設備ヲサレルト云フ御話デアリマスガ、了承致シマシタ、更ニ午前中伺ヒマシタ中デ、斯ウ云フ點ヲ伺ヒタイノデス、今回此ノ牧野法案ニ依ッテ牧野ノ擴大ヲ見マシタ、其ノ結果擴大サレタ數字モ午前中伺ヒマシタ、ソレニ依ッテ馬ノ育成ニ關シテ牧野ハ、將來保有スベキ馬ノ頭數ニ對シテ十分デアアル、モウソレデ牧野問題ハ差支ナイノデアアルカドウカト云フ點ヲ伺ヒタイ、即チ此ノ國內ニ保有スベキ馬ノ育成ニ關シテ、牧野ノ問題ハ是デ全ク擴大ノ必要ハナイト云フコトニナレバ誠ニ結構ナコトデ、將來牧野問題ハ先ヅ其ノ地域ニ於テハ解決ヲ得タト云フコトニ考ヘテ差支ナイ譯デアリマス、併シ私ノ考ヘタ所デハ、今朝ノ數字デハ現在ニ於テモ相當足ラナイ、其ノ足ラナイト云フコトニ對シテ十分ハ考ヘナイ、更ニ此ノ牧野ヲ此ノ法案デ擴大シタ以上ニ擴大スルト云フコトハナカ／＼困難デアリマス、サウ云フ際ニ少クモ所要ノ頭數ヲ維持スル爲ニハ何カ別ノ方法ガ、今ヨリ足りナイ見通シガアルナラバ考慮サレ居ラナケレバナナイ筈デアアル、ソレニハドウ云フ方法ガ考ヘラレテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ、例ヘバは一例デアリマス、馬ハ理想トシテハ生産地ト育成地ガ同ジ場所デ、同一場所デアルト云フ所ニ於テ、誠ニ具合好ク造ラレル、併シ日本ノ國內ニ於テモ生産地デアリ、育成地デアアル地方モアリマス、又或地方ニ行クト生産地ト育成地ト異ニシテ居ル、更ニ之ヲ細カク説明スレバ、馬ヲ春生マシテ秋賣却スル、ソレヲ買ッテ者ハ他ノ地方ニ持ッテ行ッテ育成テルト云フヤウナコト、サウスレ

バ若シ牧野ガ將來擴大サレテ十分デアレバ宜シイガ、十分デナイ場合ニハ一ツノ方法トシテハ、日本ヲ生産地ニシテ滿洲ニ於テ育成スルト云フ方法モ、是ハ良イ方法デハナイケレドモ、一例トシテ擧ゲレバ、牧野ガナケレバ馬ノ育成ガ出來ナイト云フ問題ハ解決スル譯、若シサウ云フ方法デモ執ルト云フヤウナ考ガアルトスレバ、現在、今朝程伺ッタ中ニ滿洲移植ノ問題、此ノ馬政計畫中ニモアル日滿ヲ通ズル馬政計畫、ソレニ依ッテ移植馬ノ問題ヲ伺ッタ、今日ヤッデ居ル移植ノ方法ハ日本デ生産シテ、日本デ豫メ育成シタモノヲ滿洲ニ持ッテ行ク、若シ日本デ生産シテ、サウシテ滿洲ニ持ッテ行ッテ育成スレバ、此ノ牧野ノ問題ハ育成中カラハ取除ケテ考ヘテ宜イコトデス、將來此ノ牧野ガ更ニ不足ヲ來シタト云フ場合ニハ、サウ云フヤウナ方法モ一ツノ方法デアアル、若シサウ云フ方法ヲ執ルトスレバ、寧ろ現在ノ育成ヲサレタ馬ヲ向フニ持ッテ行クヨリモ、今カラ生産サレタモノヲ早く彼ノ地ニ移スト云フ方法ヲ執ッテ方ガ、寧ろ利口ノ策デアラウト考ヘル譯デアアル、ソレニ依ッテ將來牧野ガ是デ十分デアル、或ハ十分デナイト云フ場合ニハ種々ナ方策ガ考ヘラレル、其ノ確タル方策ハ當然今ヨリ立案サレテ其ノ準備ヲシナクテハナラヌカト考ヘマス、此ノ點ヲ伺ヒタイ、私ノ質問ハ是デ……

○政府委員(村上富士太郎君) 牧野ハ午前ニモ説明申上ゲマシタヤウニ、今日ノ頭數ヲ維持スルニモ是ダケデ全ク十分トハ申サレマセヌ、併シナガラ之ニ對スル手段トシテハ、第一ニハ牧野ノ改良ト云フコトガ考ヘラレル、從來内地、北海道執レニ於キマシテモ、牧野ハ管理ガ十分デナク、草生量等モ甚ダ貧弱デアリマシテ、之ヲ今ヨリ二割、三割増スト云フコトハ技術的ニ見マシテ決シテ至難ナコトデハナイノデアリマス、左様ニシテ此ノ牧野ヲ改良シ、馬ノ飼料ニ適スル牧草ヲ増セバ、面積ハ今迄通りデアッテモ、ソレニ依ッテ馬ノ飼ヘル頭數ハ二割増、三割増ノコトハ可能デアアル、サウ云フ風ニ今後力ヲ注イデ行カナケレバナラヌト云フノガ第一ノ點デアリマス、第二點ト致シマシテハ、四條侯爵モ御指摘ノ如ク日本内地ハ極メテ國土ガ狭小デアアル、林業、其ノ他ノコトモ、是ハ日本ノ國策トシテ是非振興シテ行カナケレバナラヌノデアリマス、併シナガラ昔モアリマシタヤウニ林業ト牧野ノ兼營、即チ混牧ト云フコトモ、是ハ十分考ヘテ宜イコトデアリマシテ、國有林等ニ於キマシテハ、尙將來ニ於キマシテ闊葉樹林等デアリマシテ、馬ヲ其處ニ放牧致シマシテモ、或ハ大ナル害ノナイト云フヤウナ所ニ於キマシテハ、混牧林業モ將來考ヘテ居リマシテ、斯様ナ點ニ依ッテ牧野ト林業ト兩方ノ協調ヲ圖ル、之ニ依ッテ狹イ國土ノ上ニ於テ相當ノ馬ヲ維持シテ行クト云フコトヲ圖リタイト斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ滿洲ニ於テ育成シタラ宜シカラウ、御説御尤モノ所モゴザイマスガ、現在ニ於ケル滿洲ニ於キマスル所ノ日本移民ハ勿論、滿人等ニ於キマシテモ、馬ノ育成ト云フコトニ對スル技術ガ極メテ幼稚デアリマシテ、其ノ點カラ直チニ幼駒ヲ持ッテ行キマシテ、向フデ育成スルト云フコトハチヨット困難ト考ヘラレマス、又第二點ト致シマシテ、今日滿洲移植馬ハ、是ハ向フヘ持ッテ參リマシテ移民ニ使ハレルノデアリ

マスガ、併シ一旦事ガアリマスル場合ニ於テハ、直チニ是ハ徵發シテ第一線ニ立ツベキ馬デアリマスカラ、直グ役ニ立ツ馬デナケレバナラヌ、此ノ趣旨ニ於テ只今ニ於テバ成馬ノミヲ以テ向フニ移植スルコトニナッデ居リマス、將來滿洲ニ於ケル育成技術ノ發達致シマスル場合ニ於キマシテハ、一方滿洲ニ於テ既ニ相當馬ノ生産ヲ圖ッテ居ルヤウナ實情ニモアリマスノデ、將來滿洲ニ於テモ相當ノ馬ガ生レテ來ルグラウト思ヒマスガ、當分ノ中ハ矢張り内地カラ成馬ヲ移植シナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、是ハ臺灣或ハ朝鮮等ニ於テモ同様ナコトニナッテ居リマス

○柴田兵一郎君 私ハ今回ノ改正法文中ノ二三ノ點ニ付テ政府委員ニ御伺ヒ致シタイ、第一ハ牧野特定地ニ指定スル場合ノ手續方法、第二ハ牧野委員會ノ機構ノ内容、第三ハ國家經營ニ供スル牧野ノ豫定地、竝ニ委託放牧ヲナス場合ノ手数料ハ、ドウ云フモノデアアルカト云フコトニ付テ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(村上富士太郎君) 牧野特定地ニ指定致シマスル所ノ手續ハ、此ノ度提案シマシタ法案ノ第一條ノ三、四、五、七等ニ掲ゲテアリマスガ、之ヲ要約致シマスレバ、政府ニ於キマシテハ牧野特定地トシテ必要ダ、即チ是ハ馬產計畫ノ遂行上此ノ牧野ヲ維持シ、サウシテ之ヲ積極的ニ改良ノ必要ガアルト云フヤウナ所ニアリマシテハ、勿論是ハ相當面積ガナケレバナリマセヌガ、左様ナ牧野ニ付キマシテ、指定ヲ致サムトスル場合ニ於キマシテハ一方之ヲ公示スル、今ノ保安林ノ編入手續ト同様ニ公示致シマス同時ニ土地ノ所有入トカ、賃

借人トカ、或ハ國有林デアル場合ニ於テハ、部分林權利者ト云フヤウナモノニ對シマシテ通知ヲ致シ譯デアリマス、サウシテ通知ヲ致シマシテ、サウシテ其ノ間ニ異議ガアルナラ異議ヲ申陳ブル所ノ機會ヲ與ヘマシテ、サウシテ公示ノ日カラ三十日ヲ經過シタル後ニ於キマシテ、牧野委員會ニ諮問シテ意見ヲ徵シテ牧野特定地ニ指定サレル、斯ウ云フコトニ致スノデアリマス、牧野委員會ノ組織ハ各牧野ノアリマス所ノ道府縣ニ之ヲ置キマシテ、會長ハ地方長官ニ致ス積リデアリマス、サウシテ其ノ委員ニハ畜產關係者ハ勿論、山林關係者其ノ他ノ民間ノ代表者及關係官吏ヲ加ヘマシタル所ノ委員會ニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ、國營牧野、今後國有林等ガ開放セラレルヤウナ所デアリマシテ、是ガ直チニ民間ニ委託シテドウモ經營困難デアルト云フヤウナコトヲ對象トシテ致シタイ、斯ウ思フテ居ル譯デアリマス、ソレデ大體一牧野ノ單位面積ヲ一千町歩位ニ致シマシテ、先ヅ初年度ニハ三箇所ヲ置キタイ、次第ニ増加致シマシテ、十年計畫デ全國ニ三十箇所ヲ置キタイト思ヒマス、國營牧野ノ料金ハ四箇月ヲ一期ト致シマシテ、三圓ト云フコトヲ大體ニ豫定シテ居リマスガ、是ハ併シナガラ實際問題ト致シマシテハ其處ヘ引イテ行クノニ、非常ニ遠イ所ヘ引付ケナケレバナラヌト云フヤウナ所ニハ、此ノ料金ヨリモ更ニ低減致シタイト考ヘテ居リマス、又天災地變デアルトカ、或ハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ、料金ヲ全免スルコトモ考ヘテ居リマス

○柴田兵一郎君 只今ノ政府委員ノ御説明デ了解致シマシタガ、唯一點此ノ特定地ニ指定スル場合デスガ、行政官廳ガ牧野委員會ニ諮問シテ公示スルト云フ御説明デアリマスルガ、是ダケデ果シテ保續ガ完全ニ出來ルカドウカト云フ點デアリマス、矢張り土地臺帳ノヤウナモノニ登錄シテ置ク必要ハナイデセウカ、其ノ點ニ付テ……

○政府委員(村上富士太郎君) 登記制度ハ執ッテ居リマセヌガ、其ノ編入ノ時モ公示致シマスシ、編入ガ決定致シマスレバ、又之ヲ公示シマス、關係方面ニ全部通知致シマスカラ、先ヅ間違ヒハナカラウト思ヒマス

○柴田兵一郎君 例ヘバ公有竝ニ私有ノ場合デスガ、都合ガアツテソレヲ處分シナケレバナラナイト云フヤウナ場合、或ハ又開墾シタイト云フヤウナ場合ニ、指定サレタカラト云ツテ勝手ニ出來ナイモノデセウカ、又法的ニ其處迄束縛制限出來ルモノデセウカ、其ノ點ニ付テ……

○政府委員(村上富士太郎君) 是ハ慎重ナ手續ニ依リマシテ決定致シマスレバ、之ヲ一方ニ於テ公示致シマス共ニ、關係者ニハ普ク通知ヲ致シマス、サウシテ開墾トカ其ノ他ノコトニ付テハ許可ヲ必要ト致シマシヤウニ致シマス、是等ニ付キマシテハ此ノ規定ノ第一條ノ十二モアリマスヤウニ、是ノ承繼人ニ迄效力ヲ及ボサセテ居リマスノデ、大體特定地デアルト云フコトノ周知方ノ方ニ付テ十分ノ手續ヲ執レバ、間違ヒハナカラウト思ヒマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、尙是ハ法規デハ要求シテ居リマセヌガ、或ハ標識ヲ立デルトカ何トカ云フヤウナコトモ是ハ考ヘテ見タイト思ヒマス

三箇所、三十箇所特定地ニ指定シタイト云フノハ、特定地デスカ國ノ……

○政府委員(村上富士太郎君) ソレハ國營牧野デゴザイマス

○柴田善三郎君 此ノ九十萬「アール」ノ放牧地ノ中デ、ドノ位ヲ結局特定地ニ取ラウカト云フコトハ御計畫ガアルノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 大體ニ於キマシテ共同飼養地ノヤウナ、多數ノ者ガ寄リ合ッテ牧野ヲ經營シテ居リマス所デアリマシテ、ソレガ少クトモ五十町歩以上アル、而モ大體ソレガ馬ガ放牧サレテ居ルヤウナ所デアアル、斯様ナモノニ付テ特定地ヲ設定シタイ、只今ノ所ノ計畫デハ大體……次第ニ擴張テ參リマスガ、最高限度五十萬町歩位ヲ特定地トスル……

○柴田善三郎君 五十萬町歩……參考書ニハ「アール」ト出テ居ルガ、片ッ方ハ町歩デ僕等ニハ分リマセヌカラ、統一シテ貫ヒタイ

○委員長(侯爵小村健治君) 柴田委員ニ伺ヒマスガ、速記ヲ止メマスノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) ソレハドウモ、「アール」トシテ出シテ居リマスノハ惡カッタカモ知レマセヌガ、大體「ヘクタール」ト町歩トハ殆ド似タヤウナモノデアリマスカラ、大體同ジ位ト思ヒマス

○柴田善三郎君 五十萬町歩ト云フノ何年間位ニヤラレルノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 是ハ必要ガアレバ入レルノデスカラ、必ズシモ何年間ニ皆入レルト云フノデモアリマセヌガ、矢張り出來得レバ五年間位ニ大體其ノ制度ヲ完備シタイト思ヒマス、勿論其ノ以後ニ於キマシテモ、必要ガアレバ入レマスシ、又必要ガナクナルモノハ省キマスカラ、無論

牧野特定地ノ編入或ハ解除ト云フコトハ、是ハ法律ガアル限り永久續クト思ヒマスケレドモ、マア五年間位ノ間ニ大體整備サセタイト考ヘテ居リマス

○柴田善三郎君 現ニ放牧シテ居ル所トカ放牧適地デアルトカデ、改良ヲ要スルモノト云フヤウナ所ヲシヤウト、斯ウ云フノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 大體御意見ノ通りデゴザイマス

○柴田善三郎君 サウスルトモウ改良ノ餘地ナシト云フモノヲ特定地ニシテ置クト云フコトハ、將來存續ノ必要ガアツテモシナイ、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 改良ノ餘地ナシト云フノハ、モウ既ニ立派ニ改良ガ出來テ居ルト云フヤウナ所ノコトデアレバ……併シサウ云フ所ハ矢張り是ノ特別ノ監督ニ致シテ置キマセヌト、又段々惡クナルト云フヤウナコトガアリマスカラ、サウ云フ所モヤッデ置キタイト思ヒマス、既ニモウ非常ニ荒廢シテ、改良シテモ駄目ダト云フヤウナ意味ノ改良ノ餘地ノナイ所デアレバ、是ハ特定地ニ致シテモ仕方ナイ譯デ、寧ロサウ云フ所ハ抛ッテ置クヨリ仕方ナカラウト思ヒマス

○柴田善三郎君 此ノ頂戴シテ居ル參考書ニ採草地、放牧地トノ區分面積ガアリマス、大體是ハ維持サレテ行クノデスカ、之ヲ將來片ッ方ハ農耕ノ關係ニナル、片ッ方ハ牛馬ノ關係ニナリマス、サウスルト將來何カ大キイ一ツノ用途ヲ以テ、ドウ云フ風ニ變ヘテ行カウト云フ計畫ガアルノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 大體是ハ維持シテ行キタイ、其ノ中特ニ必要ノモノ五

十萬町歩位ハ、特ニ特定地ニシテ、維持シテ行キタイト思フ居リマス、ソレ以外ノ所ハ大體面積モ狭イウナ所デアリマスカラ、マアソレ程ノコトハ致シマセスケレドモ、牧野ノ必要ハ痛感シテ居リマスカラ、面積ハソレ位ノ面積ハ維持シテ行キタイト思フテ居リマス

○柴田善三郎君 五十萬町歩ト云フモノヲモウ能ク改良ガ出來テ、サウシテ集約的ニ利用スルト云フコトデアレバ、其處デ飼育ノ出來ル、放牧ノ出來ル頭數ハドノ位ノモノデアリマセウカ、其ノ目途ハアリマスカ、先程ノ御話ノ百五十萬頭ト云フ中ノ、ドノ位ノモノガ其處ニ飼ハレ得ルノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 大體此ノ五十萬町歩ガ相當ニ改良サレマシテ、草生量ガ今ヨリ相當殖エマシテ、今ハ一町歩千貫位デアリマスガ、モウ少シ之ヲ相當ニ一町歩千三百貫或ハ千五百貫ト云フヤウナ草生量ガ出來マスト致シマスレバ、少クトモ最高二十五萬頭位ナモノハ此ノ特定地ダケデアッテ行ケルと思ヒマス、ソレデ申上ゲマスカ、放牧シナケレバナラヌ馬ハ全體ノ馬デハナイ、或ハ使役馬デアルトカ云ツヤウナ馬ハ放牧スル必要ハナイノデアリマシテ、放牧スル必要ノアル馬ハ幼駒ト、ソレカラ蕃殖ニ供セラレル所ノ牝馬デアリマス

○委員(侯爵小村廉治君) 暫ク速記ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○委員長(侯爵小村廉治君) 速記ヲ始メテ下サイ

○柴田善三郎君 先程柴田兵一郎氏カラ豫算ノ御話ガアリマシタガ、此ノ特定地ニ指定スレバ、自然何カ維持改良ニ必要ナ命令

ヲ出シ、ソレヲ實行スルニ付テ必要ナル處分ヲスルト云フコトニナルノデアリマスカラ、大體ソレハ豫算ノ範圍デ定メルト云フノダガ、大體ノ目途ハ立テオヤリニナルコトト思フノデスカ、此ノ計畫ト云フモノハ大體ドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、特定地ニスル爲ニ必要ナル政府ノ要スル支出如何

○政府委員(村上富士太郎君) 此ノ牧野ノ改良ノ豫算ハ只今ハ毎年七萬町歩位實行シテ行クト云フコトニナツテ居リマス、從ツテ此ノ特定地ニ致シマスルモノ等ニ付キマシテハ、此ノ豫算ヲ成ルベクソチラノ方ニ振向ケル、勿論ハソレノ全部デハゴザイマセヌ、ソレ以外ノ所ノ牧野ニモハ矢張り相當ヤラナケレバイカスト思ヒマスガ、成ルベク此ノ執行ハ特定地ノ方ニ重キヲ置イテ致シタイト思フノデアリマス、ソレデ前ニモ申上ゲマシタヤウニ、將來ニ於テハ更ニ此ノ豫算ノ擴充ト云フヤウナコトモ考ヘナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○柴田善三郎君 其ノ豫算ハ幾ラデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 豫算ハ純粹ノ獎勵費ダケ申上ゲマスカ、百六萬圓ニナリマス

○柴田善三郎君 其ノ費目ハ……

○政府委員(村上富士太郎君) ソレハ牧野ノ改良事業助成費ガ九十六萬三千七百圓、ソレカラ牧野改良事業指導助成金ト云フモノガ八萬七千圓、其ノ技術者ノ設置ノ助成金ガ一萬五千圓、斯ウナツテ居リマス

○柴田善三郎君 特定地關係カラ必要トスル豫算ト云フモノハ全部幾ラニナルノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 之ヲ實際ニ

實施シテ參リマス時ニハ、特定地ノ方ニ重キヲ置イテヤツテ行キタイト思ヒマス、併シナガラ此ノ牧野ノ豫算ト云フモノハ是ハ全部ガ特定地ダケニ限定シテ、特定地以外ノモノニハシナイト云フ豫算デハゴザイマセヌ、殊ニ本年ノ如キハ法律ガ通りマシテ施行規則ガ出來マシテカラ特定地ガ出來マスカラ、從ツテ明年ノ如キハ明年度ノ豫算ヲ執行スルト致シマスレバ、是ハ特定地以外ノ處ニモ相當重キヲ置イテ行カナケレバナラスト思ヒマスガ特定地ノ制度ガ次第ニ増シテ參リマスレバ、大體特定地ノ方ニ重キヲ置イテ此ノ方ニ振向ケテ行クトニ致シタイト思フテ居リマス

○柴田善三郎君 前ニ放牧シテ居ル處「保續スル必要アルモノヲ牧野特定地ニ指定スルコトヲ得」斯ウ云フ規定ニナツテ居リマスカ、何カ地方のニ良イ馬ヲ作ル場所ニ東北ガ宜イトカ、九州ガ宜イトカ、地方のニ特ニ將來ハ斯ウ云フ處ヲ主タル馬產地ニシヨウト云フヤウナ何等カ目的ガアツテ、シヨウト云フノデヤナイノデスカ、チヨットソレヲ……

○政府委員(村上富士太郎君) 大體馬ノ主タル產地ト云フノハ地方のニ決ツテ居リマシテ、北海道デアルトカ東北、九州之ニ先ヅ限ラレテ居リマス、ソレ以外ノ處ハ牧野モ餘リナイヤウデゴザイマス、アリマシテモ大體牛ノ牧野デゴザイマス、其ノ外ノ處デハ是ハナカ／＼馬ノ方カラ申シマス、之ヲドツサリソチラノ方ニ馬ヲ生産セシムルト云フコトハ、從來ノ慣行カラ言ヒマシテモ、ナカ／＼困難ト思ヒマス、大體此ノ軍ノ動員ト云フ方カラ申シマス、矢張り全國ニ萬遍ナク馬ガアルコトガ、一番宜シ

イノデアリマスガ併シナガラ馬ノ生産ト云フモノハ矢張り是ハ從來カラノ技術ト云フモノガ相當アリマシテ、又馬ノ生産地方ノ人ノ愛馬心ト申シマス、サウ云フ方ガ非常ニ影響スルコトガ強イノデアリマスカラ、餘リ馬産ニ關係ノナイ處ニ、無理ニ馬ヲ作ラセルト云フコトハイカスト思ヒマス、又實際土地モアリマセヌ、國有林等モ中國其ノ他ニ少イノデアリマスカラ、是等ヲ開放スル餘地ガナイノデアリマスカラ、ソチラノ方ニ將來トモ馬産ヲ十分ニ發達セシムルト云フコトハ、困難ノ事情ガアルヤウニ思ヒマス

○柴田善三郎君 特定地ニナルト色々ノ行為ガ制限ヲ受ケマスカ、此ノ樹木ノ伐採ト云フコトニ付テノ制限ハ出來ルノデスカ、チヨット……

○政府委員(村上富士太郎君) 是ハ牧野ノ本來ノ目的ヲ阻却スルヤウナ、牧野ノ用途ガ全然變ツテシマフト云フヤウナコトヲ、許可制ヲ執ツテ居リマスガ、普通樹木ノ單純ナル伐採ト云フヤウナコトハ牧野ノ目的阻却ニナリマセヌカラ、別ニ許可制ハ執ラセナイ、併シナガラ之ニモ色々ナ維持改良ノ方法等ヲ政府ガ指定スルコトニナツテ居リマス、ソコデ牧野ヲ經營スル場合ニ於テハ矢張り馬ガ蔭ニ寄ツテ憩フ、相當ノ廂陰樹ヲ置カナケレバナリマセヌノデ、必要ガアレバ是ダケノ木ハ留メテ置ク、伐採ニハ斯ウ云フヤウニヤツテ限レト云フヤウナコトヲ政府ハ、行政官廳ハ指定ガ出來ルコトニナツテ居リマス、併シナガラ一般的ノ規定トシテハ伐採ヲヤルニ付テ別ニ許可ヲ必要トシナイ

○柴田善三郎君 其ノ中ノ開墾適地ナドノ開墾ト云フノハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 開墾ハ勿論是ハ禁止スル意味デゴザイマセヌノデ、實際開墾ニ適スルヤウナ所ガアリマスレバ、是ハ許可シテ開墾サシタイト思ヒマス、唯無統制ニヤリマス折角此處ガ一番必要ダト云フ牧野目茶々ニナルト云フヤウナコトガアリマスノデ、サウ云フコトハ統制ヲ執ッテ行キタイト思フノデアリマス

○柴田善三郎君 ソレハ開墾ハ許可ヲ要スルコトニスルノデスカ、ドウスルノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 開墾ハ許可ヲ要スルコトニ致シテ居リマス

○柴田善三郎君 サウ云フ場合ニ此ノ牧野ノ方ト、又普通農事ノ方ト大變場合ニ依リマスト云フト、意見ノ分レルヤウナ場合ガアルカト思ヒマスガ、耕地適地ナドハ矢張り許可制ニセズニ、特ニ必要ノアルト云フ時ニ制限スルト云フヤウナコトデハイケマセヌノデセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 左様ナコトモアラウカト考ヘマシテ、特定地ヲ設定致シマス場合ニ於テハ牧野委員會ニ諮問スル、牧野委員會ニハサウ云フ農業關係者モ入レマスシ、ソレカラ又ソコガ地主ガ開墾シタイト云フヤウナ所デアレバ、地主ニ異議ガアルヤウナ場合ニ於テハ、現在既ニ開墾適地デアルト云フヤウナ所ナラバ勿論是ハ牧野特定地ニ致サナイ積リデアリマス、唯將來、今ハサウ云フ所デナイ、從ッテ今牧野ニナツテ居ルト云フヤウナ所デアリマスカラ、直グ田ニナルトカ、何トカ云フ見込ノアル所デナイノデスカ、サウ云フ所ガ將來、ソレヲ開墾シヨウト云フヤウナ場合ニハ、是ハ相當計畫的ニ許可シテ行キタイ、無統制ニイッノ間ニカソレガ外ノモノヘ變ルト云フ

ヤウナコトニナリマス、馬ノ方カラ言ヒマスト非常ナ甚大ナ打撃ヲ受ケルヤウナコトモアリマスノデ、サウ云フコトヲ防ギタイト思ヒマス

○柴田善三郎君 此ノ牧野ト言ハレルモノノ中、外ノ地方ハ存ジマセヌガ、北海道ナド見マスト非常ナ大キナ面積ニナツテ居リマスルガ、北海道ニ於テ所謂放牧地ト言ハレルモノハ必ズシモ草生地ニ限ラナイ、詰リ農耕適地以外ニ於テ將來斯ウ云フ所ハ放牧地ニシタラバ宜カラウト云フヤウナ所ハ、大抵放牧地ト云フ名稱ヲ持ッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、是ハ馬ノ飼育ノ關係カラ特ニ何カ基本的ノ調査ヲシタ數字ガ此處ニ出テ居ルノデスカ、在來ノ北海道ノ扱ヒニ依ッテ唯此處ヘ出シタモノデスカ、ソレハ如何デスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 是ハ大體現在ニ於テ放牧ヲサレテ居ル面積ヲ擧ゲタモノデゴザイマス、實ハ北海道ニハ放牧地適地トシテ、實際ハ時々馬ガ入ッテ居リマスヤウナ未利用狀態ナモノガ相當アリマス、之ヲ俗稱帝國牧場ナドト云フヤウナ言葉ヲ使ッテ居リマスガ、ソレハ此ノ面積ノ中ニ入ッテ居リマセヌノデ、サウ云フヤウナ所ハ今後ソレヲモット合理的ニ牧野化シテ行キタイト思ヒマス

○柴田善三郎君 宜シウゴザイマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 他ニ御質問ゴザイマセヌカ

○男爵杉溪由言君 只今ノ柴田委員ノ御質問ニ關聯致シマシテ、チヨット補助金ノコトニ付テ伺ヒタイノデアリマス、特殊地方ノ牧野ノ改良事業等ニハ特別ノ補助金ガアルノデゴザイマセウカ、例ヘテ申シマスレバ

東北地方ハコ、三四年前、連年ノ災害等ニ依リマシテ農山村ノ窮狀ガ甚ダシク、殊ニ此ノ地方ハ馬産其ノ他畜産業ガ是等ノ地方ノ重要産業デアアルノデアリマス、サウ云フ所ヘ牧野ノ改良事業ヲスルト云フコトハ非常ニ必要ダト思ヒマスガ、ソレニ付テ特ニ何カ助成スル政府ハ御考ガアルノデゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 只今ハ東北地方ダケニ取リマシテ、特ニ其ノ率ヲ厚クスルト云フヤウナコトハ致シテ居リマセヌ、併シナガラ矢張り北海道トカ、東北トカ云フ所ハ牧野面積モ多イノデゴザイマスカラ、從ッテ補助金モソナラノ方ニ相當多額ノ補助金ガ參ルト云フコトニハナリマス、併シ率ハ別ニ他ノ所ト變ヘテ居リマセヌ

○男爵杉溪由言君 私東北ニ例ヲ取リマシタガ、唯北海道其ノ他東北方面、所謂馬產地帶ト云フ意味デ申上ゲタノデスカ、ソレニ對シテ特別ニ厚ク助成スルト云フ御考ハナイノデゴザイマスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 左様ナ考ハ只今ノ處持ッテ居リマセヌ、唯此ノ後牧野特定地デモ出來マスレバ、牧野特定地ト、ソレ以外ノ所トハ改良ノ補助金等ノ率ニ付テハ適當ニ考慮致シタイト思ヒマス

○男爵杉溪由言君 此ノ改正法ニ依リマシテ牧野特定地ガ各所ニ出來マシテモ、其ノ管理利用ヲ完全ニシナイ限りハ牧野ノ改良ト云フモノハ何ニモナラナイ、即チ改良ト管理利用トガ相俟ッテ、始メテ其ノ完全ナル目的ヲ達スルノデアラウト私ハ思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ若シ其ノ均衡ヲ得ナケレバ改良事業ノ效果ハナクナリ、牛馬ノ生産ニ及ス影響モ亦決シテ少クナイ

ヤウニ思ヒマス、故ニ營業者ノ方々ヲ能ク指導シテ最モ適切ナル方法ヲ考究セラレ、又其ノ實行ニ邁進サレタイト思フノデアリマス、處ガ從來此ノ牧野地方ニアリマシテハ兎角營業者ガ其ノ利用増進ニ關シテ餘リ關心ヲ持タナイ、之ヲ是正スルニハ外部カラノ指導ト激勵ガ大イニ必要デヤナイカト思フノデゴザイマス、故ニ各地方ノ實情ニ即シタ管理經營ト申シマスガ、其ノ改善ヲ私ハ最モ希望スル者デゴザイマス、處デ此ノ飼料ガ非常ニ今日上ッテ居リマスガ、此ノ飼料ニ付テ何カ補助ハ御考ニナツテ居ラレルノデセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 飼料ニ付テ直接ノ補助ト云フコトハ考ヘテ居リマセヌデスカ、昨年通りマシタル所ノ軍馬資源保護法ニ依リマシテ軍用保護馬ト云フモノガ指定サレテ居リマス、又種馬統制法ニ依リマシテ優良牝馬、候補優良牝馬ト云フモノガ指定サレテ居リマス、是等ニ對シマシテハソレノ一定ノ補助金ヲ出シテ居リマシテ、是等ガ矢張り結局飼料ノ方ニ對スル助成ト云フコトニ結論ニ於テハナルト考ヘテ居リマス

○男爵杉溪由言君 モウ一點伺ヒタイ、第九條ニ依リマシテ獎勵金ヲ交付ナサルヤウニ書イテゴザイマス、是ハ現行通りデゴザイマス、其ノ獎勵金ノ外ニ、優良ナル牧野組合、地方公共團體、畜産組合、畜産組合聯合會ト云フモノニ獎勵金ノ外ニ、又ハ獎勵金ニ代ヘテ何カ非常ニ成績ヲ擧ゲタ場合ニハ、表彰ト申シマスガ、サウ云フ方法ハ御採リニナラナイノデゴザイマセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 牧野ノ中、模範トスベキモノハ模範牧野ト云フコトニ

致シマシテ、是ハ馬政局長官カラ模範牧野ト云フモノヲ指定シテ居リマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 他ニ御質疑ゴザイマセスカ

○大西虎之介君 第二條ノ三ノ所ニ、牧野特定地ヲ設定致シマス場合ニ、現所有者ガ協議ニ應ジナカッタ場合ニ、土地收用法ヲ適用サレバヤウナ建前ニナツテ居リマスガ、此ノ法律ノミナラズ、昔カラアル法律ノ中デ、例ヘバ地方鐵道法ニモ認メラレタ土地收用法ノ場合トカ、或ハ工業法デ認メラレテ居リマス土地收用法、斯ウ云ツクヤウナ偶、同一地域ニ競合致シマシタ場合ニ、其ノ效力ノ相違ハ、ドウ云フ風ナコトニナルヤウニ御考デゴザイマセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) チョット御質問ノ意味ガ分リ兼ねマスガ、同ジ時ニ兩方ノ土地收用法ガ競合スルト云フコトデゴザイマスカ……

○大西虎之介君 偶、其ノ土地ガ、一方ガ土地收用ヲ申請致シマシタ場合ニ、或特定ノ鑛山ガ其ノ土地ヲ必要トシテ土地收用ヲ申請スル、又或場合ニハ其ノ所ニ地方鐵道ヲ敷設スル爲ニ土地收用ヲ申請スル、孰レモ其ノ所有者ガ應ジナカッタ場合ニハ、土地收用法ハ適用サレコトニナル筈デアリマス、サウナリマシタ場合ニ、效力ノ問題ハドウ云フ風ニ御考デセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 結局一ツノ所ニ三ツカ四ツ競合スルヤウナ……

○大西虎之介君 二ツ或ハ三ツガ競合シマシタ場合デス

○政府委員(村上富士太郎君) ソレハ結局土地收用法ハ、御承知ノ通り内務大臣ガ認定致シマスノデスカラ、三ツ四ツ競合シテ

來タヤウナ場合ニ於テハ、ドレガ一番重要性ヲ持ツカト云フコトデ、同時デアレバ其ノ中ノ最モ必要ナモノヲ認定スルコトニナルダラウト思ヒマス、例ヘバ其處ヲドウシテモ鐵道ガ通ラナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニハ、其處ハ鐵道ノ敷地トシテ一番重要ト云フコトニナルカモ知レマセヌ、ソレハ其ノ時ノ重要性ニ依ツテ違フダラウト思ヒマス、併シ先ニ一ツノ事業認定ラシタ後ニ、又外ノ者ガ申請シテ來タト云フヤウナ場合ニ更ニ認定スルカドウカト云フコトハ、是ハチョット今私モ何トモ斷定出來兼ねルト思ヒマス、結局第二ノ方ガ公益性ガ強イト云フ場合ニハ、第一ノ土地收用ノ認定ヲ取消スト云フヤウナ處置デモシナケレバナラヌト思ヒマス

○大西虎之介君 普通今迄行ハレテ居リマスノハ、内務大臣ニ事業認定ラシテ貰ヒタイト云フコトヲ、地方鐵道ナラ地方鐵道カラ申請致シマス、個々ノ土地ト關セズ、其ノ特定ノ會社ガ土地收用ガ出來ル、事業ガ出來ルト云フ、斯ウ云フ認定ガ來ルヤウニナツテ居ルヤウデスガ、又鑛山ニ於テモ同斷ダト思ヒマスガ、然ラバ此ノ法律ニ依リマシテモ、其ノ組合ナラバ組合ガ、事業認定ヲ内務大臣カラ受ケル、斯ウ云フコトニナリマシテ、收用審査會ト云フモノガ各府縣毎ニ其ノ縣其ノ縣デヤツテ居ルヤウデゴザイマスガ、サウ致シマシタ場合ニ、各事業認定ニ基イテ申請スルト同一ニ起リ得ル場合ガ想定サレル筈ダト考ヘルノデアリマスガ、若シ孰レガ強力ナリヤト云フコトハ餘リハツキリシテ居リマセヌ場合ニ、例ヘバ牧野特定地ヲ設定致シマシタ時ニ、土地收用法ニ依リマシテ其ノ土地ヲ收用シ

タ、サウシタ場合ニ後カラ鐵道ヲ敷ク、或ハ工業業者ガ其ノ場所ガ是非必要ダト云ツテ土地收用法ヲ申請スル、斯ウナリマシタ場合ニ、ナカ／＼實際上非常ナ不便ナコトガ生ズルノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ邊ニ對スル御考ハ如何デセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 牧野特定地ニナリマシタ所ニモ、更ニ土地收用法ノ適用アリヤ否ヤ、是ハ法制局デモ十分確メテ居ル譯デアリマスガ、是ハ矢張り適用シテ差支ナイ、從ツテ牧野特定地トシテ必要ノアル場合ニ於テハ、他ノ土地カラ此ノ土地收用法ヲ適用シテ、其處ヲ其ノ用途ニ當テルコトガ出來マス、左様ナ場合ニハ、公益上ノ必要カラ牧野特定地ヲ解除スルコトニナラウト思ヒマス

○大西虎之介君 サウ致シマシタ場合ニハ、例ヘバ此ノ法律ニ依リマシタナラバ、農林省ノ所管ニナツテ居リマスシ、地方鐵道ナラ鐵道省、工業ナラ商工省ト云フコトニナツテ居リマシテ、各官廳ノ連絡ガウマク行キマセヌ場合ニ、或事業ニ非常ナ支障ヲ來スト云フコトハナイ筈デゴザイマスガ、間々アルヤウニ考ヘマス、此ノ點各官廳ニ於キマシテ十分御打合せニナリマシテ、斯ウ云ツクヤウナモノハドウ云フ風ニスルト云フ、各連絡ヲ御執リニナルト云フコトガ、各業者ニ取ツテハ便利デヤナイカト思ヒマスガ、其ノ邊ニ對スル御考ハ如何デセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 土地收用法ノ關係ハ内務省ガ主管省デアリマスカラ、結局内務省ト各官廳ガ協議シテソコヲ決定スルト云フコトニナラウト思ヒマス、從ツテ斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、結局ハドレガ公益上比較シテ一番必要カト云フ

コトヲ見マシテ、決定スベキ問題デヤナイカト思ヒマス

○大西虎之介君 ソレデハ或法ニ基キマシテ土地收用法行ハレテ居リマシテモ、次ニ又他ノ事業ガ土地收用法ニ依リマシテ申請致シマシタ場合ニ、公益性ガヨリ強イト認メラレタ場合ニ、ソレヲ一遍解除致シマシテ、次ノ土地收用ニ應ズル、斯ウ云フ風ニナルト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 是ハ土地收用法ニ斯ウ云フ規定ガアリマス、現ニ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ用ニ供スル土地ハ、特定ノ必要アルニ非ザレバ收用又ハ使用スルコトヲ得ズト云フヤウナ規定ガアリマス、一應是デ行キマス、併シナガラヨリ公益性ガ強ケレバ、即チ特別ノ必要ガアル譯デアリマスカラ、ソレガ出來ルト思ヒマス、ソレデ一般ノ牧野特定地ニ付キマシテハ、土地收用法ガ適用ニナル譯デハアリマセヌカラ、ソコハ違フト思ヒマス、未利用地ノ場合デゴザイマス

○大西虎之介君 斯ウ云ツクモノガ私共ガ考ヘマス、法ノ多少不備ガアルヤウニ思ハレマスガ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、法制局アタリデ中心ニナリマシテ研究サレマシテ、其ノ強力性トカ或ハ順位トカ、サウ云フモノヲ豫メ或程度迄御定メニナツテ置ク方ガ便利デヤナイカト思ヒマスガ、其ノ點ニ關スル御考ハ如何デセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 是ハ色シナ公益事業ガアリマスカラ、其ノ公益事業ノ順位ヲ全部決メルト云フコトナカ／＼困難デアラウト思ヒマス、同ジモノデアリマシテモ、其處ニ付キマシテ、ドレガ必要カト云フコトハ矢張り決ッテ來ルダラウト思

ヒマス、例へば鐵道事業デアレバ、其處ヲ通ラナレバ非常ナ迂回路ニナルト云フコトデアレバ、ソレハ鐵道事業トシマシテハ其處ガ一番必要デアラウト思ヒマスガ又色シナモノガアリマスカラ、單ニ事業ノ範圍ガ是ヨリ是ガ上ト云フコトハ、一々ハ逆モ決リニクイト思ヒマス、矢張り個々ノ問題ニ付テ決定スルヨリ外仕方ガナカラウト思ヒマス

○柴田善三郎君 チョット伺ヒマスガ、此ノ法案ハ衆議院ヲ通過シテ出サレタモノデスカ、貴族院ニ出サレタモノデスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 是ハ貴族院ニ先ニ提出サレタモノデアリマス

○柴田善三郎君 大體從來ノ慣行トシテ豫算ヲ伴フ法案ニ付キマシテハ、豫算先議權ノ關係上、衆議院ヘ先ニ提出サレルノヲ普通トシテ居ルヤウニ存ジマスケレドモ、是ハ間違デセウカ、ドウデセウカ、此ノ法案ヲ拜見致シマス、補助費其ノ他當然豫算ヲ伴ハナケレバナラヌモノノヤウニ考ヘマス、サウスルト從來サウ云フ法案ハ衆議院ニ先ヘ提出スルト云フコトヲ例ニシテ居ッタヤウニ思ヒマシタガ、ソレハ誤リデアリマセウカ、ドウデセウカ、若シソレガ誤リデナカッタトスレバ、政府ハ是カラ直チニ豫算ヲ伴フト否トニ拘ラズ、法案提出ニ付テ別ニ先後ノ區別ヲ設ケスト云フヤウニ御考ヲ御變ヘニナッタノデアラウカドウカ、其ノ點ヲ承リタイ

○政府委員(松本弘君) 豫算ニ關シマシテハ私が申上グル迄モナク、衆議院ガ先議權ヲ持ツテ居リマスルガ、今日迄ノ前例カラ申シマス云フト、豫算ヲ伴ヒマシタ法律案デゴザイマシテモ、貴衆兩院何レヘ出シテ

モ差支ナイト云フヤウニナッテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、勿論或ハ豫算ガ通過テ法律案ガ否決サレルト云フ結果モアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ場合ニハ豫算ハ自然消滅スルコトニナラウト思ヒマス

○柴田善三郎君 デヤ假ニ此ノ法案ノ審議ニ於テ、第何條カニハ豫算ノ範圍内ニ於テ云々ト云フ規定ガアリマスケレドモ、假ニ此ノ委員會ガ何千萬圓以上必ズ支出シロト云フコトヲ議決シタト云フ場合ニハドウナリマスカ、例ヘバサウ云フ例ハ小學校教員ノ國庫補助ト云フヤウナモノニ例ガアルト思ヒマス、法律ニ決メテアリマスコトハ、既ニ衆議院ノ豫算ハ済ンデ居ル……

○政府委員(松本弘君) サウ云フ大キナ豫算ヲ伴ヒマスル點ニ付キマシテハ、只今私ハ其ノ前例ハ分リマセヌデアリマス、併シ現ニ此ノ法案ニ付テ申上ゲマスモノナラバ、豫算ハ既ニ衆議院ヲ通過シテ居リマス、デゴザイマスカラシテマア……

○柴田善三郎君 衆議院ノ通過シタノハ現在ノ提案ニハ豫算ノ範圍内ニ於テ御書キニナッテ居ルカラ、ソレハ差支ナイ、假ニ或最低額ヲ是デ決メルト云フヤウナ修正ヲシタ場合ニハ、大變ニソコニ狂ヒガ生ジハセヌカト思ヒマス、其ノ點ハドウナリマス

○政府委員(松本弘君) 豫算ガ修正サレマスレバ、當然其ノ執行上ニ影響スルト云フコトハ是ハ致シ方ガナイト思ヒマスガ、尙併シ只今ノ御質問ノ點ハ取調ベマシテ、又他ノ機會ニ御答ヘスルコトニ致シタイト思ヒマス

○柴田善三郎君 サウ云フ關係ガアレバコソ、豫算ヲ含ム法案ト云フモノハ必ズ衆議院ニ先ヘ出ス、斯ウ云フコトニナッテ居ル

ノデヤナイカト想像スルノデスガ、私ノ記憶ガ誤リナラバソレデ宜イノデアリマス、ソコノ邊ワ一ツ確カメテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松本弘君) 尙只今御質問ノ點ハ能ク調べマシテ改メテ御答フスルコトニ御願ヒシタイト思ヒマス

○柴田善三郎君 私ノ記憶ガ誤ッテ居レバソレデ宜シウゴザイマスガ、若シサウデナイ場合ハ、將來ハモウサウ云フコトニ拘ラズ別ニ先後ノ區別ヲ付ケズニ御提案ニナル、斯ウ云フ御考デアルカドウカモ併セテ御調ヲ願ヒタイト思ヒマス、私が之ヲ伺ヒマスル所以ハ、大體貴族院ニ法案ヲ提出ト云フモノハ先ヘ御提出ニナルト云フ場合ハ極メテ少イノデアツテ、ソレデ貴族院ト云フモノハ大體衆議院ガ豫算ヲ御議決ニナル迄ト云フモノハ殆ド開店休業、國務大臣ノ演説ニ對スル質問ノ外ハ殆ド開店休業ト云フ状態ニナッテ居ル、ソレハ何故カト云フト、政府ノ法案ガ出テナイデヤナイ、議員ノ所ニハ法案ト云フモノハ配ラレテ居ル、參考ノ爲ニハ配ラレテ居ル、ケレドモ總テノ法案ト云フモノハ皆衆議院ニ先ヘ提出スルノヲ適當ト認メテ、政府ハサウ云フ處置ヲ御執リニナッテ居ル、處ガ今ノアナタノ御話ノヤウダト、將來ハ貴族院ハ法案ナキニ苦シマス、開會ノ初メカラ法案ナキニ苦シマス、斯ウ云フコトニナルノデヤナイカト思ッテ、或意味ニ於テハ大變結構ナヤウデアリマスケレドモ、併シ豫算トノ關係ヲ考ヘテ見タトキニハドシナモノカト思フノデス、是ハ私ノ記憶ガ誤リナラバ宜シウゴザイマス、若シ誤リデナイトスルト、兩院ノ關係ニ於テ餘程重大ナ事ノヤウニ存ジマスカラ、只

今申上ゲタサウ云フ慣例ハナイカアルカ、アルトスレバ、將來ソレヲ改メラレル意味デ之ヲ考慮サレルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松本弘君) 只今御質問ノ點ハ能ク調べマシテ他日御答ヘ致スコトニ致シマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 他ニ御質問ガゴザイマセウカ

○有賀光豐君 私中座致シテ居リマシテ、若シ同様ノ質問應答ガ既ニアリマシタナラバ、ソレハ省略ヲ願ッテ差支アリマセヌ、大體ニ於テ斯ウ云フコトヲ御尋ネシタイノデアリマスガ、此ノ農業用ノ畜類、役畜ハ牛馬何レヲ主トシテ御獎勵ニナッテ居リマスカト云フコトデス、ソレカラ次ニ馬ニ付キマシテハ、農業用ノ馬ヨリ勿論軍馬ノ補充ト云フコトニ主眼ヲ置イテ居ラレルコトト思フノデアリマスルガ、日本ノ現在及將來ノ軍馬ノ補充ト云フコトニ付キマシテハ、日本内地、外地、或ハ滿洲、或ハ支那等、日本ノ力ノ及ブ範圍ニ於テ如何ナル分擔ヲシテ之ヲ補充スル御方針ニナッテ居リマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、而シテ其ノ次ニハ此ノ馬ノ用途ニ付キマシテ、乘馬、或ハ駄馬、輓馬、是ハドシナ比率ニナッテ居リマスカ、ソレカラ此ノ牧野ニ關聯致シマシテ伺ヒタイコトハ、先刻モ之ニ類シタ御尋ガアツクヤウデアリマスルガ、今一面日本ニ於キマシテ農業、殊ニ食糧ノ問題ガ非常ニ大キナ問題ニナッテ居ルノデアリマス、此ノ狭イ日本ノ國土ニ於テ農業ノ方モ盛ニセヌケレバナラス、食物モ充實セヌケレバナラス、一面又廣イ地域ヲ牧野ノ爲ニ取ラスケレバナラス、色々ナコトガ

交錯致シテ居リマスルガ、此ノ農業ト牧野トノ關係ノ當局ニ於キマシテハ十分御協議ノ上デアリマスルカドウカ、其ノ點モ御伺ヒ致シタイ、ソレカラ次ニ日本ノ栽培スル牧草ノ外ニ野ニアル自然ノ野草ト云フモノガアル、此ノ詰リ適否、或ハ自然ノ牧草ト云フカ、野草ノ牧草ト云フモノヲ改良シテ行ク必要ガアリハセヌカドウカ、サウ云フマダ必要ハナイノデアルカ、改良スルトスレバドンナ方法デスルノデアルカ、又現在ドウ云フヤウナ方法デヤッテ居ラレルノカ、サウ云フコトヲ先ヅ以テ教ヘテ戴キタイノデアリマス

○政府委員(村上富士太郎君) 農業用ノ役畜ト致シマシテハ牛馬ニ區別ヲ設ケテ居リマセヌ、第二ノ馬ノ資源ハドコデ養成スルカ、軍馬ノ資源ハドコデ養成スルカト、是ハ内地ニ於キマシテ、内地ヲ基幹ト致シマシテ、内地ニ於テ大體生産スル、併シナガラ一方外地、竝滿洲ノ馬産ト云フコトモ極力今後急速度ニ進メテ行カナケレバナラス、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ滿洲ニ於キマシテハ大體小格輓馬ノ生産ヲ主トスル、サウシテソレニ必要ナル所ノ種馬ハ内地カラ之ヲ供給スル、又當分ノ内ハ戰列部隊所用ノ馬、軍ノ必要トスル有能馬ハ、内地ノ生産シタルモノヲ成馬ニナツタ場合ニ於テ外地ニ移植スル、斯ウ云フヤウニ致ス考デアリマス、朝鮮、臺灣モ從來ハ馬産ニ對シテ大ナル仕事ヲ致シテ居リマセヌガ、最近ニ於キマシテハ是亦相當ニ馬産ヲ振興シナケレバナラスト云フコトデ、是モ一部、朝鮮ニ於テ直チニ生産ヲ圖ルト共ニ有能ナル馬ヲ内地ヨリ移植スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ

農業トノ關係デゴザイマスルガ、是ハ勿論省内ニ於キマシテ農業トノ間ノ調和ヲ圖ッテ參ッテ居ル譯デアリマス、唯御承知ノ通り内地ノ牧野ハ傾斜地ガ多イノデゴザイマシテ、農業トノ間ノ衝突ト云フコトハ殆ド是ハ考ヘラレマセヌノデ、從來ヤカマシク言ハレタ所ハ林業トノ間ノ協調デアリマシテ、林業トノ間ノ協調ハ是ハ相當考ヘナケレバナラスト思ヒマス、併シナガラ大體ニ於テ相當山間ノ傾斜地ノ所ニアリマスルノデ、農業トノ關係ト云フコトハ大ナル是ハ相剋ト云フコトハナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ牧野ニ對スル牧草ヲ改良スルト云フコトハ、是ハ非常ニ必要ナコトデアリマシテ、私共モ將來ハ牧野ニ牧草ノ種子ヲ蒔イテ、サウシテ是等ノ牧野ヲ草ノ方カラ積極的ニ改良シテ行キタイト思フ、是等ハ官營ノ牧場等ニ於テハ既ニ實行シテ居ルコトデアリマスガ、之ヲ更ニ進ンデ民間ノ牧野ニ對シマシテモ、サウ云フ方面ニ助成ヲ致シタイト思ヒマシテ、サウ云フ方面モ將來ハ助成方法ヲ講ジタイト思ッテ居リマス、ソレカラ此ノ乘馬、輓馬、駄馬ノ區別ニ付キマシテハ、是ハ陸軍ノ方カラ一ツ御説明申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(侯爵小村捷治君) 速記ヲ中止シテ……

(速記中止)
○委員長(侯爵小村捷治君) 速記ヲ再開、他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……御質疑ガナケレバ、本日ハ此ノ程度デ會議ヲ閉ヂタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(侯爵小村捷治君) 次回ノ會議ハ、明後三月一日午前十時ヨリ、若シ當日

本會議ガアリマスル節ハ午後一時半ヨリト致シマス、今日ハ之ニテ散會致シマス

午後三時三十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵小村 捷治君
副委員長 伯爵後藤 一藏君
委員 柴田善三郎君
男爵坊城 俊賢君
男爵松溪 由言君
有賀 光豐君
菅澤 重雄君
大西虎之介君
柴田兵一郎君

委員外議員 侯爵四條 隆德君

國務大臣 農林大臣 島田 俊雄君

政府委員 農林參與官 松本 弘君
馬政局長官 村上富士太郎君

説明員 騎兵中佐 福富 伴藏君
馬政局技師 佐々田伴久君

昭和十五年二月二十八日印刷

昭和十五年二月二十九日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局